



愛知陸協広報

第19号

22年9月30日発行

愛知陸上競技協会

〒460-0012 名古屋市中区千代田二丁目19番16号千代田ビル7F

電話 (052) 249-4363 ファックス (052) 249-4366

e-mail ark@marble.ocn.ne.jp

ホームページ: url <http://gold.jaic.org/jaic/member/aichi/>

愛知の君たちの頑張りに感動!!

男子走高跳 優勝



中京大中京高2年 糟谷 隆明
今年のインターハイには、「挑戦者」の立場として出場しました。余計なプレッシャーもなく、予選から普段通りの跳躍ができました。優勝が決まった瞬間は、全く実感がなかったのですが、チームの仲間に祝福されたときに、嬉しさが溢れてきました。

これから秋のシーズンに向けて、インターハイの結果をきっかけに、もう一度練習を見直していこうと思います。国体や日本ジュニア・ユースでは、また全国の選手達と戦えるのが楽しみです。

豊明市立栄中学校3年 掛川 真

僕は全日中の100mと200mに出場し、予選、準決勝、決勝とタイムがあがっていき、100mでは自己新タイ、200mでは自己新で両種目とも3位に入賞することができました。とてもうれしく感じました。大会最終日の100mでは、足の筋肉がかなり張り、走りきれぬか心配したほどなので、冬期練習では体力のなさを補い、高校に向けて鍛え上げないといけないと感じています。



今年はまだ国体とジュニアオリンピックがあるので、いい走りができるようがんばって練習していきたいと思います。そして、国体では決勝進出、ジュニアオリンピックでは優勝を目指して微力を尽くします。

100mの表彰式 左から3人目が掛川君、右から2人目が實君(沓掛中)

出、ジュニアオリンピックでは優勝を目指して微力を尽くします。

支えてくださった先生方や応援してくださった皆さんに感謝して、これからもいい走り続けたいです。

女子3000m 優勝

豊川高等学校 ワイナイナビートライスマルギ選手

昨年の伊澤先輩に引き続き、優勝できてとてもうれしいです。ラスト100mで後ろに他校の選手がいたので、少しびっくりしてがんばりました。応援ありがとうございました。



女子7種競技 第2位

佐屋高校 河崎梓穂璃



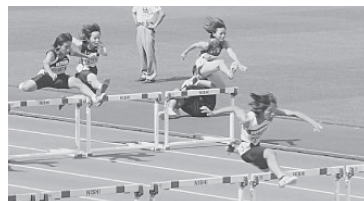
今回は、顧問の脇本先生を始め多くの方々のご指導・応援のおかげで、インターハイという大きな舞台で闘うことができました。沖縄から帰って

から、優勝できなかったことをずっと後悔しています。大事な場面で負けてしまったと自分を責めてばかりです。でも、その悔しさと同じくらい楽しい試合でした。こんなに陸上楽しいと思えたのは初めてでした。私にとって初めて最後のインターハイは、すごく大切なものを教えてくれた大会でした。

豊橋市立高豊中学校3年 萩原加奈子

私は、1日目に行われた200mで、思うようにタイムを伸ばせませんでした。そのくやしさをバネに、100mHの予選に臨みました。「ここでは絶対に負けられない」という緊張感の中、予選・準決勝を全力で走り、決勝に進出することができました。決勝では、緊張よりも、全国トップクラスの選手たちと走ることのできる喜びの方が大きかったです。1位をねらっていたので、2位という結果は、嬉しい気持ち以上に、くやしきも大きかったです。

これから私が参加する国体やジュニアオリンピックでも、ベストを尽くしてがんばっていきます。そして、さらなる練習を積み重ね、13秒台という目標記録を必ず実現したいと思います。





上半期を終えて

理事長 外山 幸男

記録的な猛暑であった今年の夏も終わり、ようやく秋の陸上シーズンを迎えました。

第70回愛知陸上競技選手権大会は、松本で開催の東海選手権の予選会として開催しました。最優秀選手に、男子山本雄介選手(小島プレス)、女子今井沙緒里選手(至学館大)を選出し表彰しました。この大会では、長年にわたり愛知陸上競技協会の競技会運営、選手強化に尽力された、60才以上の方々に愛知陸協会長表彰を行なっています。各支部から推薦された方々から選考しました。大型ビジョンとアナウンスでの紹介で梅村清弘会長から、記念の楯を授与しました。受賞者の今後のご健勝とご活躍、陸上競技の発展にご協力をお願いします。

選手権以外の県大会としては、小学生リレー大会・中学通信陸上・ジュニアオリンピック大会等とほぼ毎週実施し、全国大会へ代表を送り出しました。

高校生では、7月のアジアユース選手権(ハノイ)に棒高跳で出場の近田竜雅選手(中京大中京高)が5位入賞の活躍。世界ジュニア選手権(カナダ・モンクトン)には、愛知出身の大学生4名が出場。男子3000mSCで山口浩勢選手(城西大)、女子は200mに市川華菜選手(中京大)、5000mは鈴木亜由子選手(名古屋大)が5位入賞、伊澤菜々花選手(順天堂大)が8位に入賞するなどの活躍は大変面白い材料と言えます。

11月のアジア大会には、室伏由佳選手が円盤投、ハン

マー投に、中田有紀選手は七種競技に出場します。中国・広州での活躍を期待しております。

8月の理事会において、「ゆめ半島千葉国体」の選手団が強化委員会の原案どおりで承認され決定しました。原案は選考対象の結果に基づいたものでした。その後、2回の強化合宿も順調に終了し、10月1日～5日の大会に臨みませぬ。好記録の期待できる秋の国体で、是非コンディションを整え、自己ベストに挑んでください。選手団の監督・コーチの方々と各選手の指導者のご尽力に感謝し、「チーム愛知」としての活躍を期待。より熱い応援をしていきます。

今年度愛知陸協最大のイベント、第26回日本ジュニア選手権大会・第4回日本ユース選手権大会が目前に迫りました。競技会は競技場内がスッキリした中での運営を全国から来場の皆さんにご覧いただくため、今までの全国大会の競技役員数に比べ各部署の編成・運営を工夫していただき、250人程度でお願いしました。登録会員の皆様の全面的な協力のもとに、出場選手が自己記録を更新するとともに心に残る大会であること願っています。地元愛知の選手にはホームグラウンドでの活躍を大いに期待しています。この大会の中で中学生と小学生の招待リレーも実施します。

3月の「名古屋国際女子マラソン」が2012年から、市民ランナーとともに走ることができる大会「ナゴヤウィメンズマラソン(仮称)」に生まれ変わることになりました。名古屋シティマラソンも同時に開催され、合計3万人の参加を見込み、コースも名古屋城等の名所旧跡を巡る新しいものとなります。マラソンの制限時間は7時間以内で検討しています。準備委員会が、9月1日から正式にスタートしました。地元の活性化につながるビッグイベントとして関係団体とともに成功に向けて準備を加速していきます。

支部報告

名古屋支部

秋に期待

6～8月の3ヵ月は猛暑でとにかく大変でした。中高校生の若きアスリート達は、地区予選・県大会を勝ち抜き、東海・全国へのキップを目指し良く頑張りました。自己新を出した者、惜しくも上位大会への出場権を逃した者、共に暑さの中、流した汗を秋の大会にぶつけ、飛躍の糧としてください。長距離陣も夏の苦しい鍛練期を経て、いよいよ秋から冬へと本領発揮の後半シーズンを迎えます。ガンバリを期待しています。

10月には日本ジュニア・ユース大会が瑞穂陸上競技場で開催されます。国体と共に愛知の競技力を全国に発信するよい機会です。名古屋支部の選手諸君は、その中心となって活躍してほしいものです。

冬季の陸上教室は、愛知陸協主催(瑞穂・知多・半田)を各3回、支部普及大会(知多・半田)を3回計画しています。自己鍛錬と飛躍のため、心して参加してください。

1 東海中学総体、3位以内入賞9名(丸数字は順位)

掛川 真(豊明栄、100m②) 坂口 潤(知多八幡、400m③)
 永山周輝(東浦西部、800m①) 櫻川浩市(滝の水、800m③)
 福島英樹(杏掛、110mH②) 平林卓磨(東浦、走幅跳①)
 酒井愛菜(高蔵寺、800m③) 石川加奈子(青山、走幅跳③)
 鷺見梓沙(杏掛、1500m③) 共通男子4×100mリレー②(富士)

2 全国高校総体、入賞者7名・リレー2校(丸数字は入賞順位)

田村朋也(名古屋大谷、200m③) 糟谷隆明(中京大中京、走高跳①)
 近田竜雅(中京大中京、棒高跳⑤) 加藤 翼(日進西、八種④)
 山田恵里(中京大中京、100m⑧) 木引悠起子(名女大、400m⑧)
 大谷友梨恵(至学館、400mH⑧)
 4×100mリレー(男・名古屋⑥、女・至学館⑦)

3 今後の予定(10～3月)

10/30・31(土・日) 名古屋支部選手権大会(瑞穂)
 12/4(土) 愛知県市町村対抗駅伝大会(愛・地球博記念公園)
 3/19・20(土・日) 審判伝達講習会(スポーツ振興会館)
 (坂井田醇三)

尾張支部

上半期を終えて

1 平成22年度前期尾張支部表彰対象者一覧(①～③の選手が表彰対象者)

平成22年度上半期諸事業は8月21日(土)、22日(日)の第2回支部記録会で終了しました。上半期は全国につながる中高生の大会をはじめ、小学生の大会、愛知選手権尾張支部予選会、第1・2回の支部記録会等の大会が行なわれました。特に、14年の長きにわたって知多市運動公園陸上競技場で行なわれてきた高校総体尾張支部予選会も平成22年度から愛知県一宮総合運動場の全面改修のおかげをもって完全実施となりました。長年知多支部にご支援、ご協力をいただいたことに尾張支部を代表して感謝とお礼を申し上げます。

さて、平成22年度上半期に全国へ駒を進めた選手諸君

クラブ紹介⑬ TTRunners とよはし

「TTRunners とよはし」は2002年にトヨタ自動車陸上長距離部のOBが中心となり、子どもから大人まで、世代を超えてふれあい、励ましあいながらランニングに親しんでいける、新しい形の地域密着型のランニングクラブを目指してスタートしました。2004年には、より地域と一体となった活動の充実をはかるためにNPO法人格を取得し、現在に至ります。現在、小学生150名、中学生50名、高校生20名、社会人30名が所属し、小学生は水曜日と土曜日の週2回、中学生以上は火曜日、水曜日、日曜日の週3回、合同練習を行なっています。



堤防の坂を駆け上がる子どもたち



小学生には「スポーツ大好きっ子の育成」をコンセプトに遊びを取り入れながら発育レベルに合わせての指導を行ない、中学生には高校・大学・社会人を見据えた段階的なトレーニングを行なうことで、より高いステージで活躍できる選手の育成を目指しています。

また、中学・高校の部活動への支援・協力、セミナーやランニング教室の開催、講演活動や大会への協賛などを積極的に行なうことにより、地域の陸上競技への関心を高め、陸上競技の普及、競技レベルの向上へとつなげていきたいと考えております。

近年、クラブ所属選手あるいはクラブ出身選手から、日本代表や県代表として、また箱根駅伝や高校駅伝で活躍する選手が出始め、また社会人チームも、毎年名岐駅伝に参加できるレベルまで育ってきております。

今後も子どもたちやアスリートの育成、陸上競技の普及のための活動を続けて参りますので、ご支援のほどよろしく
お願い申し上げます。

(仲井 雅弘)

は以下のとおりです。下半期は、国体に出場する3名をはじめ、全国規模の大会に出場が期待される選手諸君が練習に励んでいるところです。ぜひ初心を貫かれ、栄光を勝ち取っていただきたいものです。

①全国高校総体(沖縄：7.29～8.2)

山田 涼馬(一宮2)	400m	予選	49.30	(1組4着)
石原 颯(津島3)	400mH	予選	53.38	(3組1着)
		準決勝	52.92	(1組3着)
犬飼 正雄(起工3)	800m	予選	1.57.11	(5組4着)
木村 洋介(弥富3)	5000mW	予選	23.05.03	(2組4着)
		決勝	22.35.69	(6位)
墨 訓熙(起工2)	ハンマー投	予選	57.08	(2組6位)
		決勝	58.09	(9位尾張高校新)
河崎梓穂璃(佐屋3)	七種競技	決勝	4710点	(2位)

②全国中学校総体(鳥取：8.22～8.24)

堀 舞花(祖父江3)	800m	予選	2.15.43	(2着)
		準決	2.16.01	(4着)
	1500m	予選	4.47.24	(13着)

③第65回千葉国体(10.1～10.5) 出場予定者

石原 颯(津島3)	少年男子A	400mH・400m
墨 訓熙(起工2)	少年男子A	ハンマー投・円盤投
木村 洋介(弥富3)	少年男子共通	5000mW

2 今後の予定

- 第57回尾張陸上競技選手権大会、西尾張中学新人陸上大会 (10.2～10.3) 一宮
- 第58回尾張駅伝競走大会 (1.23) 一宮

○支部主催陸上教室(第1回12/11、第2回1/8、第3回2/12) 一宮

(原川 豪)

西三河支部

例年がない酷暑の中、多くの審判員の協力のお陰で無事前半の競技会を終了しました。本年度は支部内にある全天候トラック3カ所の競技場のうち、前半には豊田市営競技場の工事が行なわれ、安城市営競技場の全面改修工事が6月より11月末までの予定で行なわれています。それだけにウェーブスタジアム刈谷に大会が集中し、競技場関係者には大変ご面倒をおかけしています。

支部内では、世界ジュニア選手権に、市川華菜選手(中京大2年・岡崎城西高卒)が出場しました。これを契機に今後日本代表に向けて更なる飛躍を期待します。

本年度の沖縄インターハイの出場者は、◆(男子)久永貴大(岡崎西)・野本健太郎(岡崎北)・天野涼太、市川靖真、川端哲矢、榎 将太(岡崎城西)・折田尚也(三好)◆(女子)松山衣里(岡崎城西)・莊司麻衣(岡崎学園)・青柳妃咲、太田奈穂(光ヶ丘女子)以上6校・11名(12種目)でした。

結果は、男子棒高跳で折田尚也選手(三好)が見事4位に入賞しました。入賞は逃したものの、決勝ラウンドに出場した川端・榎両選手(岡崎城西)をはじめ、6名が1・2年生ですので、来年度はさらに活躍してくれるものと期待しています。

後半にも、高校新人予選、長距離・競歩記録会、西三河

名岐駅伝いまむかし⑫

第16回大会(昭和25年) — 「一般」21・「高校」35参加 —

名走友9連覇 岐阜・海津高初優勝

今回から申込み先が共催団体の1つである愛知陸協の「駅伝係」(名古屋市教育委員会事務局気付)となる。

大会当日は、曇天微風の少しのウォーミングアップにも汗ばむほどの条件のもとで接戦が展開された。

第1部では、大会直前の予想で、名走友の九連覇に挑む豊橋、稲津、福地の各青年団と岐阜走友の戦いが注目されたが、8区間中6区間(1、2、3、4、5、7)で区間1位を出した名走友(A)(大脇、鶴田、岩田、野村、近藤、今井、浅井、柴垣)が、4.27.36で2位に10分近い差をつけて圧勝し、9連覇を果たしたが、5位までが大会新記録であった。最長区間の2区を好走した鶴田*によれば、「長老の監督兼主将の柴垣さんにテープを切ってもらうために、10分以上の差をつけて襷を渡すための戦術を練った」という。

第2部では、海津と新城が交互に区間1位の記録を出して首位を競ったが、コーチの指導の下、連日10数キロの猛練習に耐えた選手が7、8区でも1位の好走をみせた海津(伊藤、森、水谷、堀田、水野、石原、水野、渡辺)が、4.37.34の大会新で初優勝を遂げる。第1、3、5区で区間1位の好走を見せた新城も最後まで健闘したが惜しくも2位に終わる。

なお、本駅伝大会の生みの親で戦前の大会で審判長を務めたり、度々最終区を選手と共に走った日比野寛が、4月に84歳で逝去。

2位以下の成績(4位以下は愛知県勢のみ、以下同じ)

- 1部: ②岐阜走友ク 4.37.15 ③稲津青 4.37.33 ④豊橋青 ⑤三菱電A ⑥福地青 ⑦中日本重工 ⑧愛知県庁
⑩トヨタ自ク ⑪豊田織機 ⑫名走友B ⑬刈谷工機 ⑭瀬戸陶都ク ⑮愛知学芸大 ⑯三菱電B ⑰東邦化学
- 2部: ②新城 4.42.55 ③大垣工 4.45.48 ④大同工 ⑥名西 ⑧旭丘 ⑨半田 ⑩一宮 ⑪文理 ⑫尾北 ⑬犬山
⑭西尾 ⑮稲沢 ⑯小牧 ⑰桜台 ⑱西陵 ⑲光陵 ⑳滝実 ㉑起工 ㉒岩津 ㉓瑞陵 ㉔向陽 ㉕愛知一師予
㉖惟信 ㉗南山 ㉘昭和 ㉙享栄商



ゴールテープを切る柴垣

第17回大会(昭和26年) — 「一般」16・「高校」42参加 —

名走友 堂々の10連覇、海津2連覇



枇杷島付近で彦坂が今井を抜く

午後からのみぞれまじりの寒波到来にもかかわらず、沿道のファンや300台の伴走自転車や応援トラックの大声援の中熱戦が繰り広げられた。

第1部では、最終区の8区で、首位と10秒差で襷を受け区間1位の豊橋青年団彦坂が首位に立って名走友との間に抜きつ抜かれつの死闘を展開したが、駅伝20年の43歳の老練今井の老巧さに6秒差をつけられて2位に甘んじ、名走友(宮崎、野村、岩田、高田、近藤、世古、大脇、今井)が、4.35.04で10連覇の偉業を遂げる。

なお、名走友のアンカーとして九連覇の牽引車となった柴垣は、選手宣誓をすると共に大会直前に愛知陸協の「登録者は各支部に在籍・在住」という規約を受け入れ、尾張走友(支部)の主将・アンカーとして力走したが、その英断に惜しめない賛辞が送られた。

第2部では、8区間中4区間で「一般」を上回る区間記録を出すなど、その健闘振りがみられたが、前大会覇者の海津(石原、森、野須、各務、堀田、服部、水野良、水野正)が4.39.42で二連覇を果たす。愛知県勢は昨年末の第1回全国高校駅伝県代表となった新城や中京商が岐阜県勢に伍して優勝争いを演じたが一步及ばなかった。

2位以下の成績は下記のようなのであるが、今大会については新聞紙上に15位までしか掲載されていないために、16位以下の成績は不詳である。

- 1部: ②豊橋青 4.35.10 ③香流青 4.41.07 ⑦中日本重工 ⑧尾張走友 ⑨豊田織機 ⑩愛知学芸大 ⑪愛知県庁
⑫下妻走友 ⑬半田走友 ⑭三菱電機 ⑮渥美青
- 2部: ②新城 4.40.18 ⑤中京商 ⑦安城農 ⑨大同工 ⑪刈谷 ⑫旭丘 ⑬尾北 ⑭名西
- なお、昨秋には、第5回国体が瑞穂公園で開催された。

※鶴田政之(1928生)

- 愛知青年師範卒後、中学校教諭を経て昭和28年愛知学芸大卒業。以後、安城市の小中学校教諭(県教委指導主事、〈国体担当〉5年)、平成元年安城里町小学校校長を定年退職。
- 学生時代から長距離走者として、各種駅伝、国体、朝日・毎日マラソン等で活躍。第1回日比野毎日マラソン優勝、以後、4回連続優勝を果たす。その実力が認められ、オリンピック候補合宿に参加、ヘルシンキ大会(1952)最終選考会を兼ねた日本選手権に3位入賞するも2名派遣となりオリンピック出場の機会を逸す。
- 愛知陸協常務理事、副会長(兼西三河支部長)を歴任。現在、参与。その功績に対し日本陸連より「平沼章」(昭和50年)、「秩父宮章」(同59)を受章。

注: 引用および参考資料等は、まとめて掲載する。

(西垣 完彦)

選手権、中学新人、中学駅伝、陸上教室など多くの行事が予定されていますので、今後も引き続きご協力をお願いします。

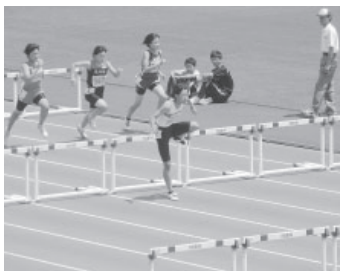
高校・一般の審判員は、10月に実施の日本ジュニア・ユース大会など技術向上の機会があります。一方3年後開催予定の全日中へ向けても、中学の先生方を中心にして、今後の各大会において審判員全体の意識・質の向上を図ることが急務だと思われます。(柴田 和秀)

東三河支部

今年度の上半期最大の話題は、カナダのモンクトンで7月19日～25日に行なわれた第13回世界ジュニア選手権に、名古屋大学の鈴木亜由子選手と順天堂大学の伊澤葉々花選手が、日本の代表として女子5000mに出場したことです。そして、鈴木選手は自己ベストの15分47秒36で5位、伊澤選手もシーズンベストの15分59秒29で8位入賞を果たしてくれました。

この二人は、小学校時代は共に豊橋陸上クラブでチームメイトとして練習に励み、全国小学生クロスカントリーレーへの出場の原動力となりました。また、中学校・高等学校時代は良きライバルとして競い合い、鈴木選手が全日本中学校陸上競技選手権大会の女子800mと1500mで優勝すると、伊澤選手は全国高等学校総合体育大会の女子3000mで優勝し、所属する豊川高校は高校駅伝女子2連覇を達成するなど、地元の小・中・高校生の憧れの選手として活躍してくれています。

この二人に刺激されたかのように、高等学校では、沖縄県で7月29日～8月2日に行われた全国高等学校総合体育大会に、7校から13名の選手とリレー1チームが出場を果たしました。そして、女子3000mで豊川のワイナイナ・ムルギ選手が優勝し、同じく豊川の鈴木美乃里選手が7位に入賞しました。また、男子1500mでも豊川工高校の小島秀斗選手が5位に入賞しました。



県通信陸上の100mHで、14秒09の県中学新記録で優勝した高豊中学の萩原加奈子選手(中央)

中学校では、鳥取県で8月20日～23日に行われた全日本中学校陸上競技選手権大会に、4校から6名の選手が出場を果たしました。特に100mHで県中学新記録を出している高豊の萩原加奈子選手は、2位に入賞しました。

このような成果をあげることができたことに対して、中高それぞれの立場で、指導に携わっている指導者の方々のご努力に心より敬意を払いたと思います。

(兵藤 重二)

と思います。

ユースの年齢区分は、1993年4月2日から1995年4月1日の間に生まれた競技者となっており、ほぼ高校1年生と2年生の年代となります。ジュニアの参加区分は、1991年1月1日から1995年4月1日の間に生まれた競技者となっており、

この大会は、世界ユース、世界ジュニアの選考会も兼ねており、このことは、まさしく瑞穂から世界への道が続いているということなのです。また、この大会に出場した選手の中から、将来、オリンピックや世界陸上などの大舞台で活躍をする選手が出ると思います。中学生、高校生だけでなく、指導者や保護者の方も、ぜひ瑞穂にお越しただき、ハイレベルな競技を直接見ることで、多くの刺激を受けてもらいたと思います。

この大会の運営を行なうにあたり、日本陸連のご指導を受けながら、競技情報処理委員会も準備を進めてまいりました。スタートにおける国際ルールの採用、男女同時のドーピングコントロールの実施など、初めてのことも多い上、久しぶりの大規模な全国大会ということもあり、準備の遅れや不明な点も多く、さまざまな点で、ご迷惑やご心配をおかけしております。だた、皆様方からのご協力を得ながら、日本中から集まった選手たちが、気持ちよく競技ができ、また瑞穂で競技をしたいと思えるような運営をしていきたいと思っております。

(安田 純久)

審判委員会

今年度から日本ジュニア・ユース陸上競技選手権大会が、愛知で開催されます。多くの審判の方々に協力をいただくこととなります。

平成22年度のトラック&フィールドも残すところわずかとなりました。各審判員の方々にご協力いただき無事進めていくことができました。ありがとうございました。

11月23日の名古屋ハーフマラソンをはじめとして駅伝、マラソンのシーズンに入ります。各大会には多くの審判員が必要となりますので、ご協力をお願いします。

B級公認審判資格講習会の2回目を、11月14日(日)(会場未定：申込者には別途連絡を致します)に行ないます。1人でも多くの教え子、同僚などに勧めていただき、若い力を育てていきたいと思っております。

今年度の実技講習会は昨年に引き続き、競歩審判の講習会を行ないます。その結果として競技者も育ってきています。指導方法を知ることでもできますので、11月13日(土)の駅伝強化長距離競技会に参加してください。今まで同様に競歩審判講習会や、新たに講習会を開いてほしいなどの要望がありましたら、審判委員会に連絡を下さい。

最後に、2点お願いをします。一つは審判の服装です。競技者か観客か分からないような服装をしている審判員をよく見かけます。特に、教員に多く見かけます。学校での指導と試合での審判との区別をきちんとつけてください。他県から移ってこられた審判から「愛知はこんな服装でいいのですか？ 前の県では小さな試合から服装を整えています。そうでないと注意されます」と言われたことがあります。これは観客側から見ると「本当の審判員なのか？」と思われ、不審を抱かれても返答ができません。審判と指導を区別していただきたい。もう一つは、審判調査はがきを必ず出すように重ねてお願いします。

専門委員会報告

競技・情報処理委員会

日本ジュニア・ユース選手権大会まで、ひと月足らずとなりました。全国からトップレベルのジュニア・ユースの選手たちが瑞穂に集まり、10月15日(金)～17日(日)の3日間、素晴らしいパフォーマンスを見せてくれること

学校紹介⑨ 至学館高校 2010 東海高校総体女子総合優勝

今回は、今年の東海高校総体で女子の部に総合優勝を果たし、全国高校総体でも大谷友梨恵選手が400mHで8位入賞、4×100mRで7位入賞を果たした至学館高校を訪問しました。全国総体での入賞常連校ですので、練習環境の整った中でさぞかし猛練習に励んでいるのだろうと思っておりましたが、予想は大きく裏切られました。顧問の稲垣克憲先生(短距離、跳躍)、奥川渉先生(中長距離)、コーチの浅井幹雄さん(投てき)へのインタビューを含めて、取材内容を報告します。

予想を裏切られた一つは、施設面です。今までに訪問した高校の中には、400mの全天候型トラックを有する豊川高校や300mの全天候型トラックを有する岡崎城西高校、中京大中京高校がありました。強豪校と呼ばれる学校には十分な施設があるものと思っていたのですが、至学館高校にはトラックと言っても、200mの土のグラウンドがあるだけです。130mほどの全天候型走路が2レーンあるものの、前述の高校に比べれば施設面では劣っていると言わざるを得ません。また、男女共学になってからの悩みもあります。野球部など男子の部活が入り込んできた分、曜日によってはグラウンドを明け渡さなくてはならないという問題があるのです。しかし、そこは強豪校です。強豪校であるだけの理由がありました。施設面について言えば、他の強豪校に比べて劣ってはいるものの、非常に効率的な使い方をしています。トラックのコーナー付近に設けられたサークルや全天候型走路を張り替えた時の廃材を使用した走高跳用のピット、体育館の軒下スペースを利用したウエイトトレーニング場など、顧問の先生方の目の届く範囲で非常に有効な配置がなされています。奥川先生は“コン



高鉄棒を利用したトレーニング

パクト”がキーワードだとおっしゃっていました。砂場の横に設置されている高鉄棒のような既存の設備を有効に利用したり、他の部とのすみ分けにも工夫を凝らしているとのことで、整った施設や練習環境が強くなるための必要条件だとは、必ずしも言えないようです。与えられた練習環境の中でいかに工夫を凝らすかが問題だと言えましょう。

予想を裏切られた二つめは、練習内容です。訪問した日が水曜日で野球部がグラウンドを使用する日だったこともあったのか、猛練習とは言えないものでした。ラダートレーニングにしろ、ウエイトトレーニングにしろどこの学校でも行なわれている程度のもかと思われました。たださすがだなどと思わせられたのは、トレーニングの流れに全くよどみがないことでした。本当に「全く」と言っていていい流れでした。無駄な時間は1秒たりとも流れていない、そう言っても過言ではありません。奥川先生は「あらかじめメニューは説明してありますから」とおっしゃっていましたが、各選手がその内容をしっかりと理解し、選手どうしの連携が取れているからその流れなのだと思います。トレーニングの時間も長くはありませんでしたが、非常に凝縮されたものだったと言えます。

もう一つ予想を裏切られたことがあります。それは、部活の雰囲気です。強豪校ともなれば、ピリピリとした雰囲気の中でトレーニングが行なわれている、先輩・後輩の人間関係も非常に上下関係が厳しい、といったイメージがあるのですが、全く違っていました。顧問の先生やコーチのお人柄もあってか、非常に和気あいあい、やわらかな雰囲気の中でトレーニングが行なわれていたのです。選手どうしも非常に仲がよい感じで、先輩・後輩といった上下関係をほとんど感じることがありませんでした。チームが力を発揮するには、人間関係が非常に大きな要素であると思わせられました。

短い時間の中で至学館高校の強さの理由を探るといふまでにはいかなないものでしたが、その中でもこれが一番の要素だと思われたのは、先生方の話をしっかりと聞く選手の姿勢です。どれだけ先生方のお話が長く続くことも、どの選手も姿勢を崩すことなく、しっかりと話を聞いていました。先生方のお話を自分の血や肉にするといい気持ちで耳を傾けている、そんな気さえしました。いわゆる上意下達といった形ではないのです。昔中日のスカウトが、挨拶もろくにできない高校生投手の投球練習も見ずに名古屋へ戻ったという話がありましたが、選手として大成するには運動能力以外の要素も必要だということでしょう。その一番が人の話がしっかりと聞けることだと私は思うのですが、その点実に好ましい姿勢でした。ただコーチの浅井さんはこの点について、確かによく話は聞くのだけれども、先生の話聞いて型にはまるのではなく、もう一つ上を目指してくれたらいいのだがとおっしゃっていました。強い学校でも、コーチからすればまだまだということなのでしょう。コーチを満足させるような姿勢が出てくれば、至学館高校は更に強くなっていくことでしょう。この点については、奥川先生から「選手が顧問の話をしっかりと聞けばいいだけでなく、下級生が上級生の話をよく聞いている。それに上級生が下級生によく教えてやってくれている」ということもお聞きしました。数年前バレンタイン監督時代にロッテがリーグ優勝したことがあります。その時にあるスポーツジャーナリストが「ロッテの強さは先輩が後輩に自分の知っていることをとことん教える姿勢を持っていることにある」と記事に書いていました。これは、まさに至学館高校のありようと重なるものではないでしょうか。



奥川先生の話聞く選手たち

全国大会も終わって代替わりの秋を迎えましたが、至学館高校では先輩から後輩へと引き継がれ、培われた伝統の力がまた遺憾なく発揮されることでしょう。この秋の至学館高校の活躍が楽しみです。(取材・文責 大西 敏功)



コーナー内側の投てきサークル



ラダートレーニング

審判員服装…夏季は白のカッターシャツかポロシャツ(愛知には指定のポロシャツがあります)、グレーのズボンかスカート。陸協指定の青のキャップ型帽子。黒の靴(女性の靴でかかとの高い物はダメです)。胸に胸章を付ける。

(榊原 茂)

選手強化委員会

平成22年度千葉国体陸上競技は10月1日(金)～5日(火)の競技日程で千葉県営陸上競技場にて開催されます。愛知県代表選手団は7月18日、8月6日の強化委員会で原案を作成し、8月9日の理事会で承認されました。(表参照) 国体選手決定の経緯は以下の通りです。

- 1 成年選手→日本選手権入賞選手から決定
- 2 教員枠選手→公認コーチ資格を有し、競技力のある谷口直土先生(千種中学教)を推薦(棒高跳)

- 3 リレー競技→男女リレーチーム編成の承認とリレー枠選手の推薦
- 4 少年A、共通→沖縄インターハイ入賞選手から決定
- 5 少年B→インターハイ出場選手、全国上位ランキング選手から決定
- 6 その他→ブロック主任から推薦された選手から入賞の可能性のある選手順に決定。

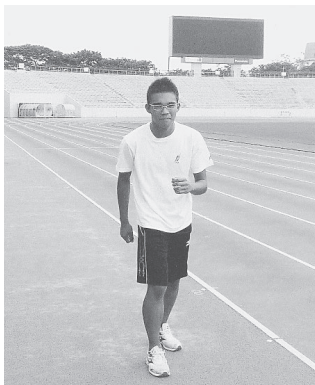
県の強化事業に参加している選手を優先して選考する。支部強化委員長、加盟団体から推薦された選手の検討。

今年から種目変更となり、新たな選手選考になりました。選考の骨子は愛知の選手として国体出場を望み、入賞出来る選手をチーム愛知に迎えることです。

成年選手も少年選手も皆チーム愛知に所属できる喜びを持つ選手団が編成できました。昨年までチーム愛知の少年選手として国体に出場し、今回成年女子で選考された鈴木亜由子選手(名古屋大)と市川華菜選手(中京大)はカナ

ホープリさん⑬

河室裕貴くん(名古屋高校1年)

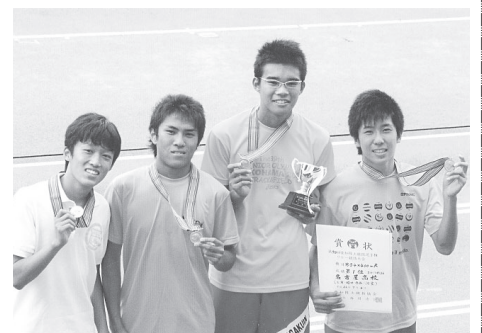


競技場にて

昨年の大分全日中男子200mの準決勝で21秒37をマークし、あの為末大(五日市中、現APF・TC)の持つ中学記録に0.01秒と肉薄したルーキー河室裕貴が冬季練習も順調にこなし、名古屋高校に入学してきた。以後、4月からの活躍は周知のとおりである。県総体の200m、400Rで優勝し、その勢いのまま何と東海総体では、上級生を尻目に100m、200m、400Rに優勝し3冠を成し遂げた。それどころか、1600Rも予選から出場しその決勝を含め、2日間で11本ものレースをこなし、名古屋高校の東海総体陸上競技男子の部総合優勝の原動力になった。まさしくスーパルーキーである。この東海総体での緊張感のなか2日間11本のレースはかなり過酷なものであったと思うが、「どこのチームもみんな同じですから。」と言って、監督の要求にも笑顔で応えてくれる。常に、笑顔で冷静な選手である。記録はといえば、100mは東海総体での10秒71は自己記録更新。また、200mは県選名古屋支部予選で出した21秒38と大きく去年の記録に迫った。

シーズン前半期の快進撃はスーパルーキーの名をほしいままに、もちろん沖縄インターハイでの彼の活躍を誰もが疑いもなく期待をしていたに違いない。好事魔多し、インターハイ出発10日前の県選手権200m準決勝のこと、いつになく調子が良く、スタートから更にグレードアップした走りを見せたかと思ったら、コーナーの中盤でまさかのふくらはぎ肉離れ。インターハイに向け治療に専念し、徐々に回復に向かっていたが、インターハイのウォームアップ場でまたもや同部位を再発させてしまった。監督として判断の甘さに痛恨の極みである。結果的にエントリー種目すべて棄権を余儀なくされ、期待に応えることができなかった。

どうしてこのような怪我をさせてしまったのか? 4月からのDVDと県選手権での彼の走り、ここまでの練習、彼の身体的特徴などを検証してみた。そのことにより彼の走りの個性を見ることになる。それはとてつもなく可能性を秘めたものである。「ねこ科のような肋骨(上体)のしなやかさ」このことにより上体をつぶしながら下肢から地面に圧をかけ(地面を押さえつける)その反発を力強く推進力に換えるのである。月刊誌などに載っている彼の走りの写真を見ると、上体がグシャッと潰れているところが良くわかる。また、身体の中心から動きが始まるので波動運動が内から外へと伝わり、下肢がむちのようにしなやかに動くのである。しかし、DVDでの比較では県選手権のときの彼の下肢はかなり暴れまくって、上体とのバランスの関係でうまく制御できていなかったのではないかと感じた。他の試合での動きとその辺が違って見えたからである。どちらにせよ下肢が暴れまわるとするのは私の経験の中でも初めてのことであった。このことがとてつもなく可能性を秘めた部分である。ただ、上体のしなやかさに比較し、下肢の硬さが目立つ。今後、その辺のところに着目し調整、強化することで、将来大きく成長することと期待する。



愛知県選手権大会の4×400mRで優勝(右から二人目が河室くん)

(陸上部顧問 森谷 晴彦)

ダ・モンクトンで開催された世界ジュニア陸上で入賞を果たす大活躍をしました。正に強化部が目標としている、「愛知のユニフォームからジャパンのユニフォームへ」を実践躬行した選手です。

インターハイ走高跳優勝の糟谷選手(中京大中京)や昨年47都道府県で唯一男女共に決勝進出を果たしたりレーなど楽しみな種目が目白押しです。

これらの選手が愛知代表にまで成長することができたのは、多くの関係者の指導の賜物であることを選手、コーチ共々認識して競技してきますのでご声援よろしく申し上げます。

平成22年度 第65回千葉国体陸上競技選手団一覧表

No.	種別	種目等	氏名	所属
1	団長	強化委員長	北村 肇	中京大中京高
2	監督	強化副委員長	森谷 晴彦	名古屋高
3		選手(兼)	谷口 直土	千種中
4	コーチ	短距離コーチ	明星 光信	豊田高
5		中長距離コーチ	渡邊 正昭	豊川工高
6		障害コーチ	鈴木 潔	武豊中
7		競歩コーチ	斉藤 喜夫	名鉄
8		跳躍コーチ	寺島 貴	三好高
9		投擲コーチ	山本 雅司	豊田大谷高
10		女性部会強化担当	佐藤 悦子	時習館高
11	マネージャー	総務	伊藤 明久	愛知商高
12			小林 諭	富田高
13	トレーナー		阿部美由紀	T.S.S.T.T
14			片岡 建	T.S.S.T.T
15	成年男子	100m・400mR	田口 博崇	中京大
16		400mR	服部 辰也	中京大
17		110mH・(400mR)	内藤 真人	ミズノ
18		400m・(400mR)	中野 弘幸	愛知教育大
19		10000mW	杉本 明洋	ALSOK 総合警備保障
20		棒高跳	谷口 直土	千種中
21		ハンマー投	久保 浩司	中京大クラブ
22		やり投	下り藤修大	小島プレス
23	成年女子	100m・400mR	今井沙緒里	至学館大
24		400m・400mR	市川 華菜	中京大
25	成年女子	5000m・1500m	鈴木亜由子	名古屋大
26	少年男子A	100m・400mR	渡辺 将志	名古屋高
27		5000m	小島 秀斗	豊川工高
28		400mH・400m	石原 颯	津島高
29		ハンマー投・円盤投	墨 訓熙	起工高
30	少年男子共通	5000mW	木村 洋介	弥富高
31		走高跳	糟谷 隆明	中京大中京高
32		棒高跳・(400mR)	折田 尚也	三好高
33	少年女子A	100m・400mR	山田 恵里	中京大中京高
34		400m・(400mR)	木引悠起子	名女大高
35		3000m	鈴木美乃里	豊川高
36	少年女子共通	走高跳・(400mR)	北島 菜璃	瑞陵高
37		棒高跳	高木 志帆	中京大中京高
38		やり投	高塚 裕子	名城大附高
39	少年男子B	100m・400mR	掛川 真	豊明栄中
40		110mJH・(400mR)	角田 涼一	中京大中京高
41		走高跳	野本健太郎	岡崎北高
42	少年女子B	100m・400mR	松井香保里	中京大中京高
43		100mYH・(400mR)	萩原加奈子	高豊中(豊橋陸上)
44	少年女子B	走高跳・(400mR)	浅井 真子	光ヶ丘女子高

(北村 肇)

記録委員会

1月以降7月末までに県内では77の競技会が開催され、そのうち70の競技会について記録委員会で日本陸連へ記録公認の申請をしています。他は学生関係で東海学連が日本学生連合を通して申請しています。70の競技会のうち多くは各支部の競技会です。各支部の記録委員長を中心に各競技会の記録担当委員の協力により報告をいただき、申請期間に遅れることなく問題もなく記録申請してい

ます。

トラックシーズンも8月に入ると10月のジュニアオリンピックを目指す競技会、来年の全国大会を目標にする新人大会、各支部選手権大会等を中心にした時期に入ります。

8月は1月から7月までの競技会の整理済みの記録の再チェック、「県外出場報告書」によるHP等からのチェックと入力済みランキング用(歴代約150傑相当)をプリントし各競技会のリザルトと照合します。約10日かけ入力漏れ、訂正等をチェックし、年末のランキング表作成の事前準備でもあります。

今年は、日本ジュニア・ユース選手権が瑞穂で開催されることに合わせ、愛知のジュニア記録作成の準備をしています。1次案として7月の理事会に提案しましたが、次号(20号)には誌上に載せ情報を得て、より正確な記録表にしたいと思えます。(ジュニアとは、その年に20歳の誕生日を迎えない競技者です。)

◎広報第18号以降、確認した県記録等

愛知新記録

男子 4×100mR 39.77 中京大

(中川恵輔・杉本 隆・服部辰也・田口博崇)

第23回西日本学生(博多の森) 7月3日

男子 100km

7.49.57 荻野 浩(名城オールランナーズ)

7.54.57 安田 遊(刈谷クラブ)

8.05.02 新井義浩(中部電力名古屋)

第25回サロマ湖100kmウルトラマラソン(北見)

6月27日

女子 走高跳 6.30 中田有紀(日本保育サービス)

第94回日本選手権(混成)(等々力) 6月13日

女子 200m 23.73 市川華菜(中京大)

2010日本学生個人選手権(平塚) 6月19日

女子 100m 11.64 今井沙緒里(至学館大)

200m 23.68 今井沙緒里(至学館大)

第53回東海陸上競技選手権大会(松本平広域公園)

8月28日・29日

愛知高校新記録

女子 棒高跳 3.40 高木志穂(中京大中京)

第70回愛知選手権大会名古屋支部予選会(瑞穂)

6月5日

愛知中学新記録

男子 1500m 4.01.27 西山 令(葵)

平成22年度西三河中学選手権(刈谷) 7月22日

男子 1500m 4.02.95 西山 令(葵)

第64回愛知県中学校総合体育大会(瑞穂) 7月30日

女子 100mH 14.09 萩原加奈子(高豊)

第56回全日本中学校通信陸上・愛知県大会(瑞穂)

7月19日

女子 100mH 14.23 萩原加奈子(高豊)

第64回愛知県中学校総合体育大会(瑞穂) 7月30日

愛知中学タイ記録

女子 棒高跳 2.90 船本新奈(鳴海)

第70回愛知選手権大会(瑞穂) 7月17日

(岡田 武彦)

女性委員会

<1> 日本陸連女性委員会 第1回会議の出席報告

開催日 平成22年6月22日(火) 18:00

陸上競技場めぐり② 安城市陸上競技場の歴史

現在、安城市陸上競技場は第二種公認更新工事中であり、全天候トラックの全面張替え工事に着手しています。11月末の完成予定ですが、シーズン真っ盛りの工事で皆様大変ご迷惑をおかけしております。

三河の小さな安城市（当時は安城町）に立派な陸上競技場が出来たのは、鶴田政之先生の多大な貢献があったことは「陸協広報」第16号「思いつくままに」に詳細が記されているとおりです。

同競技場は昭和24年、国民体育大会のソフトボール競技の会場として新設され、瑞穂・豊橋に次ぐ県下3番目の第三種公認競技場として認可されました。

以後、現在地に移転するまで、市内の大会はもちろん、西三河や県の大会等で、大勢の方々に利用されてきました。400mトラックで走ったり跳んだり投げたりを体験した最初の公認競技場がここだという方も多いのではないのでしょうか。

永年、西三河の陸上競技者に親しまれた競技場も、昭和40年10月の市庁舎建設に伴い、現在地の名古屋大学農学部跡に移転新設されました。隣には野球場（45年）、体育館（53年）も完成。総合運動公園として整備され、昭和40～50年代に全国で活躍された皆さんの最初の競技場として位置づけられました。

その後、昭和59年には初代の競技場から移設したスタンドを取り壊し、現在のスタンドの完成を見ました。新装スタンドの竣工を記念して、君原健二選手、室伏重信選手、坂本孝男選手らによる講習・指導会も行なわれました。

昭和61年1月に第三種から第二種公認への改修工事が完了。完成を祝してマラソンの宇佐美彰郎選手が走り初めをしました。アンツーカーの赤い綺麗なトラックは、小中学生から一般老若男女の方々に親しまれておりました。

平成に入って、豊田市・刈谷市に競技場が新設され、西三河で唯一だった競技場も、高校生以上の大会が開催されなくなり少々淋しくなりましたが、小中学生の底辺の拡充に大いに役立った競技場であると自負してやみません。特に小学生の活躍は、400mトラックを持っている強みか、県大会の出場は半数以上を安城の選手が占めました。指導者の努力もあると思われませんが、昭和60年代から平成の現在に至るまで、この競技場で競技した小学生が、全国大会で活躍しております。



現在の陸上競技場

平成13年11月、第二種公認更新に伴いトラックを全天候型に改修。そして今回の改修工事となりました。11月末には完成し、安城シティマラソンがオープンとなります。今後も多くの選手の方々に利用いただけるものと思います。

(稲垣 早美)

◎所在地 安城市新田町池田1

◎敷地面積 20,000 m² (全天候第二種公認)

◎400mトラック8レーン (100m直走路10レーン)

会場 日本陸上競技連盟 事務局内会議室
出席者 小松邦江委員長 大串裕子幹事
竹林幸江 脇田千鶴

委員会は、新体制でスタートし2年目を迎えました。21年度に掲げた活動目標の実現に向けて取組みをしているところです。第1回会議では、その活動状況の報告や検討を行ないました。

*活動状況

- 1 陸連組織において、強化・普及・遠征・講習会・競技会等様々な場における女性競技者の活躍の実態を把握する。
- 2 結婚・出産等で陸上競技から離れてしまった女性競技者を発掘し、経験を生かし活躍していただく。
- 3 23年度の役員改選時に向けて各組織（委員会等）の女性登用を働きかけていく。
- 4 他のスポーツ団体との連携を図る。

すぐに結果が出るものではありませんが、各都道府県のご協力をいただきながら進めていきたいと思えます。

.....(小松委員長の報告書より).....

<2>第7回愛知レディース陸上競技大会の報告

開催日 平成22年7月3日(土)・4日(日)
参加数 <個人> 中学387種目 高校一般324種目
<リレー> 28チーム

今大会は高校一般種目の400mを増やし、2日間で開催しました(県混成・県リレー大会と同時開催)。10月に開催する日本ジュニア・ユース選手権大会を踏まえ、スター

トの合図を英語で行ないました。これは、愛知陸協主催の大会では初めてのことでした。初日は参加選手・審判員ともに少し戸惑いがありましたが、2日目にはすっかり慣れスムーズでした。雨が降り、コンディションには恵まれませんでした。12種目に大会新記録が生まれました。優勝者には、本年度もMilky Way(生花店・名古屋市中区栄)より花束が贈られました。



スウェーデンリレーで入賞した左から
愛知商高・千種中・成章高各チーム

前年度の反省から、種目によってレベル差が生じていた参加標準記録を見直しました。結果、種目ごとの申込数にばらつきがなくなり、特に中学生の参加者が増えました。この時期は、中高生の期末考査と重なり参加者を確保するのも大変です。しかし大会の趣旨を十分考慮し、女性競技者の底辺拡大とレベルアップに大きな役割を担う大会として発展させていきたいと考えています。

平成22年度 第1回女性委員会 会議報告 会議内容

① 報告・連絡事項

- ・全国女性委員会議の報告
- ・日本ジュニア・ユース選手権大会(要項・準備状況)
- ・愛知レディース陸上について(要項・締切日訂正)
- ・強化委員会関係(担当者名簿・国体について)
- ・ルールについて(英語でのスタート合図・不正スター

ト一発失格)

- ・競技委員会関係 (プロ編日程)
- ・審判関係 (審判編成会議日程・審判資格取得講習会)
- ・その他

② 協議事項

- ・大会時の盗撮、痴漢等の対策について
- ・その他 (脇田 千鶴)

関係団体報告

小学生友の会
小学生友の会の活動

1 競技会の成績 (新記録のみ)

第27回 愛知県小学生リレー競走大会 6月27日(日) 瑞穂公園陸上競技場
友の会・大会新記録 ソフトボール投げ 81.54

マティエンゾクリスティアン 大須 AC
友の会・大会新記録 4×100mR 52.40

安城ジュニア陸上クラブ 平塚由希 森下夏帆 木俣結子 樋口宥華
大会新記録 6年100m 12.64 永谷礁汰 安城 JAC
大会新記録 6年100m 13.16 掛川 葉 JACとよあけ
大会新記録 5年100m 13.72 川端真奈 安城 JAC
大会新記録 混合4年4×100mR 58.83

豊橋陸上クラブ 生田奈緒子 米重美紅 松山卓暉 村田 馨
大会新記録 混合5年4×100mR 55.47

豊橋陸上クラブ 上方若菜 久野景子 杉山尚槻 筒井幹太
大会新記録 走高跳 1.35 稲垣聡乃 安城北部 AC
大会新記録 ソフトボール投げ 49.26 榎原梨子 いっしき
大会新記録 ソフトボール投げ 49.21 鈴木蒼葉 JAあつみ

2 選手団紹介

(1) “日清食品カップ” 第26回全国小学生陸上競技交流大会
8月28日(土) 東京都 国立霞ヶ丘競技場
選手 男女・友好レース 22名
役員 監督 大矢新吾 コーチ・支援コーチ 8名
が愛知県代表選手団として参加した。

(2) 第27回 東海小学生リレー競走大会
8月29日(日) 長野県 松本平広域公園陸上競技場
混合4×100mR 3チーム 愛知県大会で入賞した
女子4×100mR 3チーム 9チームが愛知県代表
男子4×100mR 3チーム として参加した。

新記録を樹立した優秀な友の会会員へ
全国大会・東海大会に参加する友の会会員が、今後も陸上競技の道を歩み、3年後(平成25年)全日本中学校選手権愛知大会選手団の中心選手に成長することを期待している。(大矢新吾 村上叡治)

中小体連

愛知の中学生、頑張っています!

第37回全日本中学校陸上競技選手権大会(8/21~8/23)に総勢66名で臨みました。結果は下記のとおりです。

第37回全日本中学校陸上競技選手権大会 愛知県選手団結果一覧(男子) ○は順位

氏名	学年	学校名	種目	予選	準決勝	決勝
近藤 佑哉	3	大府北	100m	11.36		
			200m	22.96		

磯谷 凌	3	福岡	100m	11.41		
實 大地	3	杏掛	100m	11.09	11.00	⑦ 11.04
掛川 真	3	豊明栄	100m	11.04	11.03	③ 10.96
			200m	22.44	22.36	③ 22.13
藤岡 鷹羽	3	保見	200m	23.13		
津坂 亮博	3	日進東	200m	23.45		
金宮 圭佑	3	扇台	200m	22.99		
中野 俊助	3	東山	400m	52.34		
山本 研二	3	春日井中部	400m	52.03		
坂口 潤	3	知多八幡	400m	51.69		
夫馬 大介	3	東浦西部	400m	53.22		
櫻川 皓市	3	滝ノ水	800m	2.00.03	2.02.77	
今 友佑	3	日進東	800m	2.03.46		
永山 周輝	3	東浦西部	800m	2.00.58	1.59.47	⑧ 2.00.65
			1500m	4.04.83		
西山 令	3	葵	3000m	9.42.73		
川合 健太	3	高豊	1500m	4.12.96		
内藤 祐輝	3	牟呂	1500m	4.19.07		
河合 祐哉	3	田原東部	3000m	9.12.68		
古元 翼	3	みよし南	110mH	14.51	14.48	④ 14.37
神谷 健	3	安城南	110mH	15.04		
鶴飼 椋平	3	東山	110mH	15.09		
岩瀬 累	3	岡崎南	110mH	14.82		
山本 健太	3	武豊	110mH	15.27		
三浦 成皓	3	富貴	110mH	14.54	14.55	
岩崎 聖	2	東海	110mH	15.22		
福島 英樹	3	杏掛	110mH	14.51	14.77	
福島 知樹	3	杏掛	110mH	15.13		
			110mH	14.74		
矢野 智大	3	守山西	四種競技	110mH: 14.66	砲丸投: 10.79	
				走高跳: 1.75	400m: 55.79	⑧
大久保直哉	3	安城南	走高跳	1.85		
加藤 友祐	3	六ツ美	走高跳	NM		
菊池慎一郎	3	富士松	走高跳	1.88		⑥ 1.85
			走幅跳	6.64		④ 6.84
清野 達也	3	安祥	400m	51.84		
			走幅跳	6.59		⑩ 6.59
平林 卓磨	3	東浦	四種競技	110mH: 15.20	砲丸投: 11.04	
				走高跳: 1.78	400m: 53.01	⑤
鈴木 康太	3	岡崎南	棒高跳	4.10		
		富士	4×100mR	①正木大地	①正木大地	①正木大地
				②渡邊圭一郎	②渡邊圭一郎	②渡邊圭一郎
				③杉本侑真	③安藤寛之	③杉本侑真
				④鶴飼瞭汰	④鶴飼瞭汰	④鶴飼瞭汰
				44.01	43.98	⑤ 43.77

(女子)

○は順位

氏名	学年	学校名	種目	予選	準決勝	決勝
北野 有紀	3	愛知淑徳	100m	12.52		
			200m	25.29	25.07	⑧ 25.41
杉山 美貴	3	矢作北	100m	12.17	12.30	⑤ 12.13
			100m	12.71		
田中優梨亜	3	豊川西部	200m	25.89	26.15	
			100m	12.46	12.41	
伊藤 南侑	2	梅坪台	200m	25.46	25.98	
河合 詩菜	2	安祥	200m	25.46		
小嶋 梨菜	3	竜神	200m	26.81		
山田 晴帆	3	千種	200m	DNS		
			800m	2.13.67	2.13.65	④ 2.13.80
酒井 愛菜	3	高蔵寺	1500m	4.44.37		
			800m	2.18.94		
佐々木明花	3	高橋	800m	2.18.73		
大久保紗希	3	東浦西部	800m	2.15.43	2.16.01	
			1500m	4.47.24		
鷺見 梓沙	2	杏掛	1500m	4.49.48		
松井恵里奈	3	高豊	1500m	4.48.64		
山田日菜野	2	みよし北	1500m	4.42.66		
			200m	26.02		
萩原加奈子	3	高豊	100mH	14.26	14.19	② 14.14
			走高跳	1.60		⑧ 1.63
山口 実梨	3	刈谷朝日	走高跳	1.60		
山本 麻湖	3	杏掛	走高跳	NM		
石原 薫子	3	美川	走幅跳	5.22		
岡田はるな	3	鶴城	砲丸投	12.17		

	千種	4 × 100mR	①早川有香	①早川有香
			②山田晴帆	②山田晴帆
			③久保坂優子	③久保坂優子
			④橋詰奈々	④橋詰奈々
			50.59	51.75

(久米 裕朗)

高体連 全国高校総体報告

7月29日(木)から8月2日(月)までの5日間、沖縄県沖縄市の県総合陸上競技場において、第63回全国高等学校陸上競技対校選手権大会が開催されました。

今年の夏は記録的な猛暑で、沖縄の強い日差しに選手が耐えられるだろうかと心配されました。ところが始めてみると、毎日の最高気温は名古屋より3～4℃は低く、全体的に雲が多いため、太陽がカーッと照り付けジリジリと肌が焼けるような暑さではありませんでした。

その代わり、毎日明け方にスコールが来て、その雨が日が昇るとともに蒸発してくるため、蒸し暑さが半端ではありませんでした。特に、総合開会式の日と、競技1日目のスコールはひどく、総合開会式に参加した選手はびしょぬれになりながら入場行進を待たされたり、競技1日目の棒高跳予選開始前のスコールで練習ができず、棒高跳は結局順延となりました。

そんな中で、120名の大人数で乗り込んだ愛知県選手は今年もよく頑張り、男女合わせて優勝2種目を含む、計15種目の選手が入賞しました。

優勝種目は男子走高跳で、中京大中京の糟谷選手が2m10を1回目に見事クリアをして決めてくれました。糟谷選手はまだ2年生なので来年も大いに期待できます。また、中京大中京は男子で棒高跳の近田選手が5位、女子の100mで山田選手が8位に入賞しました。山田選手も2年生なので、来年の更なる活躍を期待します。

優勝種目のもう一つは女子3000mでワイナイナ選手(豊川)が、岡山興譲館の選手をわずかに交わして逃げ切りました。また、この3000mでは、同じ豊川の鈴木選手も7位に入りました。

複数の種目で入賞したのは至学館も該当し、女子400mHの大谷選手が8位、女子4 × 100mリレーで7位と健闘しました。

また、今年は県立高校の選手も非常に健闘し、女子7種競技で佐屋の川崎選手が2位、同じ混成の男子8種競技で日進西の加藤選手が4位、男子棒高跳で三好の折田選手が4位、男子1500mで豊川工業の小島選手が6位と健闘しました。

それ以外の入賞種目では、男子200mで名古屋大谷の田村選手が見事第3位に、男子5000m競歩で弥富の木村選手が、ものすごく蒸し暑い条件の中で6位に入りました。また、昨年4 × 100mリレーで優勝した名古屋が、今年は期待の大型新人河室選手を擁し2連覇なるかと期待されましたが、残念ながらその河室選手を故障で欠き、それでも粘って6位に入りました。来年は河室選手の復帰とともに名古屋のリレーの復活を期待します。さらには、女子400mで名女大の木引選手が8位に入賞しましたが、名女大にとっては久々の入賞であったと思います。今後の古豪の復活を期待します。

(今回の沖縄総体の結果については別表を参照してください。)

(大島 修)

高体連定通部 「上半期を終えて」



閉会式後の県選手団

6月13日に全国大会出場選手選考会が知多運動公園陸上競技場で行なわれた。その結果、標準記録を突破した男子24名、女子18名、10校42名の選手

が選ばれた。

7月14日に県選手団結成式が名古屋市公会堂で行なわれ、その際、県総体男子総合優勝10年連続を達成した科技高刈谷が表彰された。8月7日に刈谷市総合運動公園で強化練習会が行なわれた。今年は例年の愛知の強さが見られず厳しい状況であるが、チーム「愛知」のまとまりで戦うことを深津俊幸男子監督、片山寿喜女子監督が強調された。

45回を数える全国大会は42都道府県から1,068名の選手が参加した。愛知は決勝までは多くの選手が進むものの、8位入賞に至らず悔しい思いが続いた。その中で、科技高刈谷の相羽岳志が男子400mHで自己新記録での2位入賞を果たした。また、女子4 × 100mRでは3位に入り、短距離種目で入賞を果たせなかった悔しさを晴らすことができた。男子も4 × 100mRは7位、4 × 400mRは5位と、リレー3種目の入賞で大いに愛知は盛り上がった。また、厳しい就業状況の中でも懸命に競技する仲間には大きな声援を送り、大会役員から賞賛の声をいただいた。

予想された結果とはいえ、総合成績で入賞を果たせなかったことは残念であるが、この悔しさをバネに新しい一歩を踏み出して行きたい。

(松橋 政人)

マスターズ陸上 心豊かな長寿社会への貢献役

2010年度上半期を振り返ってみますと、4月25日(日)には、第21回愛知マスターズ陸上競技選手権大会兼第23回全国スポレク祭愛知県代表選手選考会をウェブスタジアム刈谷で開催しました。男子192人、女子39人、計231人が参加し愛知県ナンバー1を競いました。

近年、男子M35、M40歳の短距離は大激戦で全国でも通用する選手がひしめいています。また、中長距離においても実業団で活躍し、第一線を退いた選手も徐々に出場してきています。

記録面では、男子砲丸投M75で近藤陽洲選手(名古屋市)が日本記録を、また円盤投、やり投で愛知県記録を出しましたが、全体としては、やや低調な大会となりました。この大会の優勝者の中から20人を選抜し、外山修監督のもと、10月16日～19日に富山県で開催される全国スポレク祭に県代表として派遣されます。

5月9日(日)に開催した第36回記録会では、過去最多の338人の参加者がありました。参加者を見ますと小学生124人、中学生52人、高校生39人、一般成人123人で、最年少の小学3年生から最高齢の84歳が一堂に会する記

録会となりました。

マスターズ陸上が目指す一つの事業である三世代交流の場を創ることができました。子どもたちにマスターズ陸上の存在を知ってもらい、いつまでも陸上競技を続けてもらえることができればと思います。

7月25日(日)に開催された第38回記録会は、一つの画期的な記録会となりました。これまでトラック競技は全て手動計時でしたので、増加する参加者に競技運営が追いつかない状況となってきました。今回、刈谷市陸協さんのご協力により写真判定計時を試行しました。

主催者側にとっては、213人が参加した記録会をほぼタイムテーブル通りに消化できたことは大きな収穫でした。しかし、それ以上の収穫は、参加した競技者に写真判定による計時を喜んでいただいたことです。

記録会とはいえ、それぞれの目的、目標に真剣に取り組んでいる競技者の熱き思いに応えていくこともまた重要なことではないかと思いました。これからも陸上競技を愛する方々に喜んで参加していただける記録会にしていきたいと思っています。

(佐野 昭二)

愛知陸協 OB 会



7月17日(土)、愛知選手権1日目の競技終了後、瑞穂ラグビー会場会議室において、6名の新会員を含む68名の会員と瑞穂競技場の久

志本圭三・秋田幸治両氏をはじめ、専門委員長など6名の来賓を迎え、総会・懇親会が盛大に開催された。

國分一郎世話人代表の挨拶に続いて、物故者に黙祷をささげ、予定の議案が原案通り承認された。

その後、寿杯規定により、米寿の野澤正治氏、傘寿の青木猛氏、安藤史應氏、古久根啓夫氏、星野長彦氏、藤井浩氏、喜寿の数馬公氏、近藤卓夫氏、豊田俊充氏、今泉義一氏に各々祝品が贈られた。

続いて、新会員の八田定丸氏、稲垣裕氏、蟹江賢治氏、櫻井一美氏、夏目輝久氏、鈴木覚氏が紹介され、OB会のバッジが贈呈され、総会が終了した。

総会后、翠忠明氏の乾杯の音頭で懇親会がスタート。和気あいあいの中、大いに盛り上がり、楽しいひと時を過ごした。本会の発展とお互いの健康を願い、野澤正治氏の仲締め(万歳三唱)で閉会した。

(村瀬雄一郎)

として平成22年7月29日・30日の2日間、台湾の台北(台北スタジアム)で標記の大会に参加しました。



チーム名古屋のみなさん

2 日程

7月27日(火)

10:00 中部国際空港出発
12:00 台北桃園国際空港到着
15:00 選手村到着(圓山大飯店)

28日(水)

9:00 台北スタジアムにて調整練習
18:00 歓迎晩餐会

29日(木)・30日(金)

12:30 監督会議(29日)
16:00 競技開始
20:00 競技終了

31日(土)

9:00 選手村出発 台北市内観光
17:15 台北桃園国際空港出発
21:00 中部国際空港到着

3 出場国・地域

日本、中国、タイ、香港、マカオ、台湾

4 出場選手数

男子127名、女子110名

5 選手団と競技結果

監督 伊藤 明久(愛知商業)

コーチ 松岡由希子(富田)

男子

○数字は順位を示す

氏名	所属	種目	予選	決勝
西垣 佳哉	中京大中京	100m	② 10.92	⑦ 11.07
		200m	⑥ 23.22	
石原 昌	向陽	400m	⑤ 51.45	
		400m	④ 51.18	⑤ 51.03
岡田 浩平	愛知	800m	② 2.04.87	⑦ 2.03.94
		110mJH		④ 15.09
道脇 大斗	中京大中京	走高跳		④ 1.90
舟瀬 孝太	中京大中京	走高跳		⑤ 1.90
白石 健太	名古屋	砲丸投		⑥ 13.34
		円盤投		⑦ 37.14
西垣 佳哉 角田 涼一 石原 昌 岡田 浩平	中京大中京 中京大中京 向陽 愛知	4×100mR		⑥ 43.73

女子

○数字は順位を示す

伊藤里佳子	千種	100m	⑤ 13.28	
		200m	④ 26.71	⑥ 26.59
加藤 萌	向陽	400mH		④ 66.89
長瀬 優香	中京大中京	走幅跳		④ 5.18
		三段跳		④ 11.00
佐藤 絢音	愛知	走高跳		② 1.50

アジア・インターンテナー高校陸上競技大会 参加報告

1 はじめに

チャイニーズ台北陸上競技協会より、名古屋市を対象に標記大会への招待状の案内がありました。それを受け、条件付で出場者の募集をしたところ、選手12名が決まりました。役員の2名とあわせて、総勢14名がチーム名古屋

池田 恵理	中京大中京	砲丸投	⑧ 9.37
		円盤投	⑪ 27.83



愛知高校 岡田選手



愛知高校 佐藤選手

6 参戦記

女子走幅跳・三段跳 長瀬 優香 中京大中京

7月29日・30日と台湾で行われたアジアインターシティ大会に参加させていただきました。私にとって初めての海外での国際試合ということで楽しみにしていた反面、緊張していました。台湾には日本語を話せる方が多かったし、通訳のお世話もあったので言葉の面で苦勞することはあまりありませんでした。文化の違いや生活習慣の違いは当然ありましたが、大きな戸惑いもなく大会に出場することができました。それは大会に挑むに当たり、現地の方をはじめ、先生方や両親、たくさんの方の支えがあったからだ、改めて感じることもできました。インターハイに出られなくて悔しい思いをしていましたが、すばらしい機会に恵まれ、良い経験ができたことに対して本当に感謝しています。この経験を生かしてこれからも記録向上を目指し、日々努力していきます。ありがとうございました。

男子200m・400m 石原 昌 向陽

この大会は僕にとって初めての国際大会で、いつもと違う環境や言葉に不安や戸惑いを感じながらの参加でした。そのなかで、即席のチームではありましたが、チームメイトとは競技だけでなく寝食を共にしながら、非常に良い関係を築くことができました。レース時の彼らからの応援は僕の力となり、走る僕の背中を力強く押してくれました。結果は満足のいくものではなかったけれど高校三年間で一番楽しいレースでした。走り終えた後にかけられた外国選手の「Nice Run」の一言や国際大会ならではのTシャツ交換は今でも心に残っています。僕はまだ陸上選手として未熟ですが、この経験は僕の今後の競技人生において有意義な時間を与えてくれました。チームメイトともこれからも互いに刺激しあえる関係であるといいと思っています。最後に、今回の大会でお世話になった先生方、家族や今まで支えてくださった方々に感謝します。有難うございました。

男子走高跳 舟瀬 孝太 中京大中京

僕は、初めて異国の地に行き、国際大会に出させてもらいました。台湾では、文化、言語、食事など日本とは違っているので慣れない部分もありましたが、先生、通訳さんたちのおかげで競技に集中して臨むことができました。台湾の人たちで日本語を話せる人がたくさんいて、フレンドリーに接してくれたのでとてもやりやすかったです。競技場でも慣れないタータンや雰囲気戸惑うこともありましたが、台湾のスタッフの方々が暖かいアドバイスをしてくださいましたので、良い緊張感で競技をすることができました。国際大会ということなのでいろいろな人と交流できるかなと思っていたら、台湾やタイ、香港、マカオなどの

選手が声をかけてきてくれたり、Tシャツなどの交換に誘われたり、たくさんの人たちと交流することができ、とても楽しかったです。異国の地での試合、外国の人たちとの交流、どれも勉強になり、とても良い経験になりました。

男子100m 西垣 佳哉 中京大中京高校

僕は今回の海外遠征でたくさんの貴重な体験をさせてもらえました。その中で、僕が一番この遠征に参加して良かったと思うものは、コミュニケーションの大切さを実感することができた点です。初対面の同じチームの人たちや東京の選手たち、外国人などいろんな人々を応援したり励ましたり合ったりしているうちに皆仲間になりました。そのおかげで、試合では自己ベストを更新できたと思います。また、食生活で体調が変化することも改めて思いました。台湾の食べ物日本よりも油が多く味も濃いものばかりでした。僕は持参した味噌汁の素などでなるべく日本食を食べていたので大丈夫でしたが、少し身体が重たい感じがしていました。これらの経験をさせていただいた先生方や親に感謝して、部活の仲間にこの遠征で感じた様々なことを伝えていきたいと思っています。

8 おわりに

まず、選手団の編成は、種目のバランス、男女比が偶然にも、バランスのいい編成になった。男子においては、4×100mRの編成が可能で、チーム名古屋の団結を高めることに貢献した。ユニフォームもアシックス社からの好意により揃えることができて、選手たちは普段の試合とは違った感覚で出場したと思う。海外の試合ということで最も困るのが言語であるが、優秀なチーム付き通訳担当のお陰で、特に戸惑うことなく、大会に臨むことができた。また、2010IAAF国際ルールの適用ということで、トラック種目については不正出発は1回目から失格、スターティングブロックには判定装置を装備、スタート合図は電子音で、選手たちは日本の普段の試合では今のところ経験できない緊張感の中で試合をすることができた。

台湾の夏の気候は日本以上に蒸し暑い。日中は非常に暑い。夕方からの開催は選手にとってはやりやすかったと思う。しかし、連日のスコールは日本人にとっては驚きである。競技が中断するほど激しく降った場面もあった。

台湾におけるスポーツ振興、競技力向上を目的として開催された大会に、参加できた選手団にとっては、非常に大きな経験を積むことができたといえる。今後ますますの競技力の向上と普及発展につなげていきたいと思う。

競技会報告

第57回東海高等学校総合体育大会兼秩父宮杯
第63回全国高等学校陸上競技対校選手権大会東海地区予選会
平成22年6月18日(金)～20日(日) 会場：瑞穂公園陸上競技場

男子

種目	順位	記録	氏名	学校名
100m	1	10.71	河室 裕貴	名古屋
	2	10.76	渡辺 将志	名古屋
	4	10.80	山口 和也	愛工大名電
	5	10.82	大野 将士	中京大中京

種目	順位	記録	氏名	学校名
200m	1	21.53	河室 裕貴	名古屋
	4	21.74	田村 朋也	名古屋大谷
	5	21.80	浅野 仲明	栄徳
400m	6	48.60	山田 涼馬	一宮
	8	49.30	壁谷 智之	岡崎
800m	4	1.54.76	犬飼 正雄	起工
1500m	1	3.53.58	小島 秀斗	豊川工
	6	3.56.70	三ツ岡 海	至学館
	8	4.04.73	犬飼 正雄	起工
5000m	3	14.31.38	小島 秀斗	豊川工
	6	14.35.12	小山 裕太	豊川工
110mH	3	14.77	天野 涼太	岡崎城西
	5	14.97	久永 貴大	岡崎西
	7	15.21	清水 陽平	中京大中京
	8	15.26	里地 勇飛	中京大中京
400mH	1	53.21	石原 颯	津島
	2	53.57	木全 広大	愛工大名電
	4	53.95	山田 瑞輝	春日井
	5	54.20	岡田 壮平	名古屋
	8	1.02.03	竹内 徳英	成章
3000mSC	1	9.13.20	山内 栄二	豊川
	3	9.16.53	奥野 翔弥	豊川工
	4	9.17.19	湯田 晟旭	豊川工
5000mW	1	22.01.90	木村 洋介	弥富
	2	22.02.60	杓名 貴輝	豊川工
	6	23.18.76	小谷 亮太	千種
4 × 100mR	1	40.95	掛村 将之	名古屋
			河室 裕貴	
			渡辺 将志	
			寺西 智紀	
4 × 100mR	2	41.00	川野 直哉	名古屋大谷
			田村 朋也	
			鳥本 佳秀	
	3	41.15	宮崎 海悠	豊川
			田中 威史	
7	41.58	長田 拓也	中京大中京	
		木村 祐貴		
		鈴木 祐太		
		瀬戸 健太		
8	41.83	大野 将士	東海	
		西垣 佳哉		
		佐藤 晃浩		
		高橋 周治		
4 × 400mR	4	3.17.15	笹田 康弘	名古屋大谷
			田中 宏昌	
			石野 雄士	
	6	3.17.21	川野 直哉	名古屋
			宮崎 海悠	
鳥本 佳秀				
走高跳	3	2.07	槽谷 隆明	中京大中京
	4	2.01	川端 哲矢	岡崎城西
	5	1.98	市川 靖真	岡崎城西
	7	1.98	澤田 裕貴	豊川
棒高跳	1	4.90	近田 竜雅	中京大中京
	2	4.80	折田 尚也	三好
走幅跳	4	4.80	榎 将太	岡崎城西
	2	6.93	松原 瑞貴	名城大附
	5	6.75	野本健太郎	岡崎北
	7	6.74	福和 直也	天白

種目	順位	記録	氏名	学校名
三段跳	1	14.68	近田 竜雅	中京大中京
	8	14.02	吉田 拓真	瑞陵
砲丸投	5	14.43	清水 大樹	春日井商
	7	14.35	越 寛将	至学館
砲丸投	8	14.14	白石 健太	名古屋
円盤投	3	43.59	小出 拓実	名古屋
ハンマー投	4	52.88	墨 訓熙	起工
やり投	6	58.87	加藤 翼	日進西
	1	5322	加藤 翼	日進西
	5	4800	鈴木 堂義	長久手
8種競技	6	4742	尾崎 敬介	名城大附

総合成績 1位：名古屋 30点 4位：豊川工 23点
 6位：中京大中京 18点
 トラックの部 1位：名古屋 26点 3位：豊川工 23点
 6位：名古屋大谷 11点 7位：豊川 10点
 フィールドの部 1位：中京大中京 16点 7位：岡崎城西 8点

女子 斜体：大会新

種目	順位	記録	選手名	高校名
100m	5	12.21	山田 恵里	中京大中京
200m	5	25.24	山田 恵里	中京大中京
	6	25.28	船坂 実来	至学館
	8	25.42	木引悠起子	名女大
400m	1	56.43	木引悠起子	名女大
	4	57.11	青柳 妃咲	光ヶ丘女子
	7	58.08	伊藤 亜依	国府
800m	2	2.13.44	安藤 実来	小坂井
	3	2.13.66	服部 優亜	名城大附
	4	2.13.68	鈴木香奈子	瑞陵
1500m	6	2.13.91	井口 智景	豊橋東
	3	4.32.27	清田 真央	中京大中京
	4	4.32.28	荘司 麻衣	岡崎学園
3000m	7	4.35.23	小林 愛実	豊川工
	8	4.35.44	鈴木 萌未	愛知淑徳
	1	9.06.83	Wainaina Beatrice Murugi	豊川
100mH	2	9.19.33	安藤 友香	豊川
	3	9.25.55	鈴木美乃里	豊川
	4	9.25.55	清田 真央	中京大中京
400mH	5	9.29.34	荘司 麻衣	岡崎学園
	2	14.38	飯田 美咲	名城大附
	6	14.66	白井 奈央	時習館
3000mW	7	14.69	水上 祥子	至学館
	2	1.02.39	水上 祥子	至学館
	3	1.02.70	菅田 真智	瑞陵
4 × 100mR	2	47.04	大谷友梨恵	中京大中京
			兼子あさみ	
			山本那津紀	
4	47.30	松本真由美	至学館	
		松本真由美		
		松本真由美		
4 × 400mR	1	3.52.41	濱本 桂	至学館
			西川 彩乃	
			山田 恵里	
			松井香保里	
			鈴木 愛理	
			布施 和花	
			家田 知佳	
			吉川有香子	
			船坂 実来	
			家田 知佳	
			水上 祥子	
			船坂 実来	
			大谷友梨恵	

種目	順位	記録	選手名	高校名
4 × 400mR	4	3.54.91	菅田 真智	瑞陵
			松下紗矢香	
			北島 菜璃	
	5	3.55.75	鈴木香奈子	中京大中京
			兼子あさみ	
			山田 恵里	
	6	3.56.19	松井香保里	愛知
			鈴木 愛理	
			岩田 麻衣	
	8	4.03.61	長江 夏未	光ヶ丘女子
			山田信乃以	
			矢沢小百合	
走高跳	1	1.67	山本 知奈	瑞陵
			浅井ちなみ	
			宮地 渚	
			青柳 妃咲	
走高跳	2	1.64	北島 菜璃	至学館
			近藤 董	
			佐藤 菜南	
走高跳	4	1.64	向陽	愛知
			佐藤 絢音	
走幅跳	3	5.58	布施 和花	至学館
			至学館	
走幅跳	5	5.47	松山 衣里	岡崎城西
			岡崎城西	
走幅跳	7	5.45	浅井 真子	光ヶ丘女子
			光ヶ丘女子	
砲丸投	2	12.47	近田 茜	名城大附
			名城大附	
			至学館	
砲丸投	5	11.94	高橋 奈美	至学館
			至学館	
砲丸投	8	11.05	竹内 絵里	至学館
			至学館	
円盤投	6	36.35	太田 奈穂	光ヶ丘女子
			光ヶ丘女子	
円盤投	7	36.10	芳賀恵里香	日進西
			日進西	
やり投	1	46.41	高塚 裕子	名城大附
			名城大附	
やり投	6	43.26	横山真理奈	春日井西
			春日井西	
7種	1	4800	河崎梓穂璃	佐屋
			佐屋	
			横須賀	
			豊橋南	
7種	3	4069	宮田 美咲	豊橋南
			豊橋南	
			明和	
7種	5	3929	大坪あかり	明和
			明和	
7種	7	3761	デメロ香織	明和
			明和	

総合成績 1位：至学館 31.5点 3位：名城大附 20点
 5位：中京大中京 18点 8位：瑞陵 16点
 トラックの部 1位：至学館 21点 4位：中京大中京 18点
 7位：豊川 15点
 フィールドの部 1位：名城大附 11点 2位：至学館 10.5点
 6位：瑞陵 6点

第27回愛知県小学生リレー競走大会
 2010年6月27日(日) 瑞穂公園陸上競技場

男子 (GR：大会新記録)

種目	1位	2位	3位
4年50m	村田 響 7.75	松山 卓暉 7.80	河野 舜 7.82
	豊橋陸上クラブ	豊橋陸上クラブ	片葩 AC
4年走幅跳	山口 哲太 3.87	中村 伊吹 3.72	上田 寛夢 3.62
	千代田橋 AC	JACとよあけ	なごや陸上ク
5年100m	氏田 貴之 13.97	筒井 幹太 14.07	柵木 友幸 14.09
	知立ジュニア	豊橋陸上クラブ	わかつる
6年100m	永谷 礁汰 12.64	松下 治樹 12.98	川崎ライオン
	安城 JAC GR	豊橋陸上クラブ	13.06 安城 JAC
全国80mH(0.700m)	柴田 有仁 12.98	森岡 駿介 13.36	野田 貴文 13.80
	JACとよあけ	豊橋陸上クラブ	豊橋陸上クラブ
全国4×100m	安城ジュニア陸上クラブ 50.46	田原陸上クラブ 51.38	豊橋陸上クラブ 52.93
	寺本 博之	渡会 康貴	大谷 駿
	永谷 礁汰	伊藤 壮太	佐藤 光
	伊藤 廉	小山内元希	鈴木 大生
全国走高跳	平岩 嵩也 1.25	後藤 駿弥	豊橋陸上クラブ
	いっしき	西山 皓基	JACあつみ
		小林 颯	今池 AC
		坂本 勇太	安城北部 AC 1.20

種目	1位	2位	3位
全国走幅跳	宮田 龍樹 4.44	佐藤 瑞空 4.32	小山内天希 4.32
	知立ジュニア	知立ジュニア	田原陸上クラブ
全国ソフトボール投	マティエン/クアスティアン 81.54	磯村 匠 64.66	神谷 幸多 59.70
	大須 AC PR GR	安城明和 JAC	安城北部 AC

女子 (GR：大会新記録 / PR：県新記録 / EGR：大会タイ記録)

種目	1位	2位	3位
4年50m	富塚日南々 8.01	宮崎 望 8.01	渡部 純果 8.08
	JAC武豊	布袋陸上ク	JAC大府
4年走幅跳	平松 琴美 3.47	志村 明紀 3.36	近藤 あみ 3.36
	田原陸上クラブ	千代田橋 AC	刈谷 AC
5年100m	川端 真奈 13.72	長谷川愛樹 14.27	河合 穂波 14.41
	安城 JAC GR	なごや陸上ク	田原陸上クラブ
6年100m	掛川 栞 13.16	樋口 香華 13.61	森下 夏帆 13.71
	JACとよあけ GR	安城 JAC	安城 JAC
全国80mH(0.700m)	花井 環 13.54	中村 奈緒 13.76	加納 礼菜 13.88
	知立ジュニア	作野 AC	なごや陸上ク
全国4×100m	安城ジュニア陸上クラブ 52.40	なごや陸上ク 54.77	豊橋陸上クラブ 55.04
	PR GR		
	平塚 由季	モローネ アンジェル	加藤 美沙
	森下 夏帆	加納 礼菜	山本 真未
	木俣 結子	鈴木 瑞希	佐藤 果奈
	樋口 香華	釜田 留奈	伊藤 梨紗
全国走高跳	稲垣 聡乃 1.35	平林 綾夏 1.30	榊原至佳子 1.25
	安城北部 AC EGR	JAC大府	成岩 SC 陸上
全国走幅跳	明星 光 4.54	天草 音々 4.53	釜田 留奈 4.40
	とよた AC	YOUKI 陸上	なごや陸上ク
全国ソフトボール投	榊原 梨子 49.26	鈴木 蒼葉 49.21	守屋 紀香 45.51
	いっしき GR	JACあつみ	YOUKI 陸上

混合 (GR：大会新記録)

種目	1位	2位	3位
4年4×100m	豊橋陸上クラブ 58.83 GR	なごや陸上ク 1.00.97	安城作野 AC-A 1.02.00
	生田奈緒子	アピアクウィア堂	杉浦 帆南
	米重 美紅	高橋 伶佳	安藤 帆南
	松山 卓暉	蔵田 源貴	望月 俊希
	村田 健永	松尾 和也	
5年4×100m	豊橋陸上クラブ 55.47 GR	安城ジュニア陸上クラブ-A 56.24	田原陸上クラブ 56.67
	土方 若菜	片山 栞里	宮川 真優
	久野 景子	川端 真奈	河合 穂波
	杉山 尚楓	藤本 高壮	緒方 空哉
	筒井 幹太	吉田 将	仲井 陽大

2010東海混成競技大会兼第31回愛知県混成競技大会
兼第70回愛知選手権リレー兼国体選考競技会・ジュニア記録会
 2010年7月3日・4日 瑞穂公園陸上競技場

種目	1位	2位	3位
東海男子混成十種競技	宮澤 陸 6894	土井 洋 6705	井上 将成 6627
	中京大	中京大	東三河 AC
東海女子混成七種競技	太田 穂 4656	加野 小織 4403	宮田 美咲 4076
	至学館大	創進浜松 AC	横須賀高
愛知男子混成十種競技	土井 洋 6705	井上 将成 6627	早川 周吾 6534
	中京大	東三河 AC	安城学園 AC
愛知女子混成七種競技	太田 穂 4656	宮田 美咲 4076	平手 佑佳 3765
	至学館大	横須賀高	名城大付属高
中学男子混成四種競技	平林 卓磨 2632	矢野 智大 2539	川島 大征 2195
	東浦中	守山西中	葵中
中学女子混成四種競技	山本 麻湖 2264	早瀬 名那 2262	柳瀬 理央 2119
	沓掛中	長良中	守山西中
選手権男子5000m	山本 修平 14.18.84	船越 大輔 14.25.64	森 雅也 14.30.77
	TTランナース	愛三工業	トエネック
選手権男子10000m	大関 喜幸 31.22.51	阿部 哲史 31.26.06	坂井 俊介 31.57.32
	愛知製鋼	トエネック	中央発條
選手権男子4×100m	中京大 40.44	名古屋高 40.73	名古屋大谷高 41.47
	成瀬 慎也	寺西 智紀	川野 直哉
	三輪 将之	河谷 裕貴	田村 朋也
	外間 修造	酒室 昇吾	鳥本 佳秀
	波多野良平	渡辺 将志	宮崎 海悠

	種目	1位	2位	3位	
選手権男子	4 × 400m	名古屋高 3.17.36 三浦 央頌 岡田 壯平 寺西 智紀 河室 裕貴	トヨタ自動車 3.17.61 田中 星次 東 政義 原 伸次 堂野 博樹	愛知大 3.18.77 加藤 雄大 瀧本 慎吾 加藤 雷也 佐野 恭兵	
		5000 m	鈴木亜由子 16.19.35 名古屋大	清田 真央 16.44.29 中京大中京高	鈴木美乃里 16.46.38 豊川高
		4 × 100m	中京大中京高 47.63 西川 彩乃 山田 恵里 松井香保里 鈴木 愛理	至学館大 48.30 谷内 美彩 後藤 菜月 後藤 香奈 今井沙緒里	至学館高 48.84 江森 智菜 吉川有香子 征矢 萌唯 船坂 実来
選手権女子	4 × 400m	瑞陵高 3.59.15 松下紗矢香 鈴木香奈子 菅田 真智 松田つみき	光ヶ丘女高 3.59.83 山本 知奈 浅井ちなみ 宮地 渚 青柳 妃咲	至学館高 4.00.10 中井 朝日 園原 基予 糟谷 知世 宮島はづき	
		100m	河室 裕貴 10.88 名古屋高	掛川 真 11.11 栄中	長田 拓也 11.21 豊川高
		3000m	金尾 圭祐 8.54.59 豊川工高	東 瑞基 9.01.94 愛知高	西山 令 9.06.18 松下走塾
国体男子少年B	110mH (0.991m)	角田 涼一 14.66 中京大中京高	川浪 駿 14.83 名城大附属高	杉坂 竜亮 15.10 中京大中京高	
	走幅跳	青山 耕也 6.78 名古屋大谷高	二宮 聡史 6.64 岡崎北高	遠藤 圭市 6.53 名古屋大谷高	
	砲丸投 (5.000kg)	小出 拓実 13.76 名古屋高	天野 雄太 12.65 起工高	山下 響平 12.51 名古屋商高	
国体女子少年B	100m	松井香保里 12.51 中京大中京高	田中優梨亜 12.77 豊橋陸上クラブ	式守 茜 12.84 長良中	
	1500m	黒川沙莉愛 4.40.84 豊川高	服部 優亜 4.41.59 名城大附属高	北本可奈子 4.41.98 千種高	
	100mYH (0.762m)	萩原加奈子 14.33 豊橋陸上クラブ	谷 優奈 14.74 名城大附属高	斉藤 早希 14.84 岡崎城西高	
ジュニア男子	砲丸投 (4.000kg)	尾崎 康和 11.78 長良中	白木 昇平 8.69 御幸山中		
	砲丸投 (1.000kg)	安藤かすみ 25.21 古知野中	笹田 葵 22.47 平針中	田口 優 21.86 木曾川中	
	走幅跳	久野 優輝 5.05 竜神中	菅原 美里 5.01 瑞陵高		
ジュニア女子	砲丸投 (1.500kg)	中村 勇太 29.93 守山西中	冬頭 海斗 27.44 萩山中	杵本 裕貴 25.17 古知野中	
	砲丸投 (4.000kg)	尾崎 康和 11.78 長良中	白木 昇平 8.69 御幸山中		
	砲丸投 (1.000kg)	安藤かすみ 25.21 古知野中	笹田 葵 22.47 平針中	田口 優 21.86 木曾川中	

	種目	1位	2位	3位	
一般	800m	佐野 彩芽 2.21.38 刈谷高	服部真紀子 2.22.96 OWLS	大山 早紀 2.25.00 岡崎城西高	
	1500m	今泉 志穂 4.42.83 東邦高	猿渡えこ 4.48.93 東邦高	安川 裕子 4.49.42 名古屋大	
	100mH (0.840m)	兼子あさみ 15.15 中京大中京高	酒井 志奈 16.59 光ヶ丘女高	後藤 真李 17.09 半田高	
	400mH (0.762m)	林 佑紀 1.05.88 横須賀高	澤木 里奈 1.06.86 春日井高	山内 萌 1.07.75 成章高	
	3000mSC (0.762m)	肥田 幸子 11.59.07 至学館高	長谷川詩織 12.01.30 至学館高	中川 智世 13.19.20 瑞陵高	
	走高跳	炭 水土里 1.61 中京大	近藤 董 1.58 至学館高	佐藤 絢音 1.58 愛知高	
	走幅跳	小川 詩織 5.34 OWLS	松山 衣里 5.33 岡崎城西高	古幡 知里 5.06 至学館高	
	三段跳	北島 菜璃 11.64 瑞陵高 GR	長瀬 優香 10.88 中京大中京高	伊藤えりか 10.76 至学館大	
	砲丸投 (4.000kg)	石田 桂 11.53 城西 AC	赤嶺 愛 10.17 豊田自動織機	杉浦真由美 10.16 知多教員倶楽部	
	円盤投 (1.000kg)	近藤 瞳 33.20 津島北高	朝隈 里菜 30.76 至学館高	松山 有沙 28.12 名古屋商高	
	やり投 (0.600kg)	高塚 裕子 44.68 名城大附属高 GR	三浦 萌 39.31 愛知学院大	中川 園子 38.07 至学館大	
	共通	棒高跳	高木 志帆 3.00 中京大中京高 GR	松下 琴子 2.90 中京大中京高 GR	矢野 由梨 2.60 千種中
		スウェーデンリレー	千種中 2.20.24	愛知商高 2.22.39	成章高 2.25.78
100+		橋詰 奈々	梅村奈央子	沢辺真由佳	
200+		早川 有香	内田 実花	西脇 紗英	
300+	久保坂優子	谷口 真由	山内 萌		
400m	山田 晴帆	遠山かおり	山田 瑞紀		

第2回国体少年Bの部選考競技会
県ジュニアオリンピック記録会
2010年7月10日(土) 知多運動公園陸上競技場

男子

	種目	1位	2位	3位
国体B	100m	掛川 真 11.09 豊明栄中	青木 啓太 11.39 岡崎城西高	奥山 拓実 11.45 千種高
	3000m	早川 雅大 9.27.08 半田高		
	110mH (0.991m)	川浪 駿 14.88 名城大附属高		
	走幅跳	山本 研二 6.09 春日井中部中		
	砲丸投 (5.0kg)	天野 雄太 12.86 起工高		
	Cクラス 100m	新美 泰地 12.19 東浦	碓 水晶 12.86 安城西	祖父江 巧 12.88 大口
	共通 100m	宮崎 恭庸 11.32 六ツ美北	西山 佳佑 11.50 岡崎南	山本 研二 11.66 春日井中部
	共通 800m	木村健太郎 2.04.20 松下走塾	櫻川 皓一 2.04.52 なごや陸上クラブ	川地 翔太 2.06.84 守山西
	共通 1500m	中村 賢晴 4.24.91 岡崎美川	長谷川佳弘 4.28.61 AC一宮	岡田 直也 4.29.38 東港
	共通 3000m	稲葉 康太 9.40.43 葵	山本 成晃 9.40.67 知多知多	小久井大将 9.45.52 岡崎美川
中学	Cクラス 走幅跳	垣立 康汰 4.92 TSM	鈴木 力斗 4.91 大口	郷 卓磨 4.51 古知野
	Bクラス砲丸投 (40kg)	尾崎 康和 11.11 長良	白木 昇平 8.77 御幸山	山田 陽介 8.54 平針
	ABCクラス ジャベリンスロー	杉浦 篤樹 50.83 乙川	柴田 一聖 50.61 香流	竹内 一貴 49.93 平針
	共通 100m	宮崎 恭庸 11.32 六ツ美北	西山 佳佑 11.50 岡崎南	山本 研二 11.66 春日井中部

女子

	種目	1位	2位	3位
国体B	100m	酒井 美緒 13.19 東山中	足立 香澄 13.25 名城大附属高	濱島 利江 13.29 豊明栄中

第7回レディース陸上競技大会
2010年7月3日・4日 瑞穂公園陸上競技場

(GR: 大会新記録)

	種目	1位	2位	3位
中学	100m	浅田えりか 13.03 美川	山田 晴帆 13.05 千種	式守 茜 13.13 長良
	200m	小嶋 梨菜 27.02 竜神 GR	柴田 夏希 27.49 宮田	天野 綾子 27.66 高橋
	800m	佐々木明花 2.21.35 高橋	今井理香子 2.29.73 AC一宮	岩瀬 綾菜 2.29.77 豊川南部
	1500m	鷺見 梓沙 4.41.48 杏掛 GR	加治屋ななこ 4.49.41 逢妻	中根 千明 4.50.99 矢作
	100mH (0.762m)	小木曾美樹 16.05 美川	橋本 佳奈 16.65 竜神	山中里佐子 16.92 富士松
	走高跳	杉浦 澄美 1.61 福岡 GR	大和田ゆうか 1.56 代田 GR	飯田 典子 1.50 豊橋陸上クラブ
	走幅跳	石原 薫子 5.27 美川	山下 瑞季 5.00 亀崎	石川加奈子 4.96 知多 TC
一般	砲丸投 (2.721kg)	岡田はるな 12.09 鶴城	岡 千波 11.85 知多知多	中村 彩花 11.61 豊橋陸上クラブ
	100m	戸田有希乃 12.37 愛知学院大	山田 恵里 12.45 中京大中京高	家田 知佳 12.53 至学館高
	200m	間瀬 貴子 27.13 岡崎城西高	助供 礼香 27.15 岡崎商高	鈴木万由子 27.29 光ヶ丘女高
400m	鈴木 愛理 59.15 中京大中京高	柘植 早織 59.46 三菱自動車岡崎	宮島はづき 1.00.51 至学館高	

Table with 4 columns: 種目, 1位, 2位, 3位. Rows include 国体B 100mH, 国体B 走幅跳, 中学 Cクラス 100m, 共通 100m, 共通 800m, 共通 1500m, 共通 3000m, Cクラス 走幅跳, Aクラス砲丸投 (40kg), ABCクラス ジャベリン.

Table with 4 columns: 種目, 1位, 2位, 3位. Rows include 200m, 400m, 800m, 1500m, 100mH (0.840m), 400mH (0.762m), 3000mSC (762m), 5000mW, 走高跳, 棒高跳, 走幅跳, 三段跳, 砲丸投 (4.000kg), 円盤投 (1.000kg), ハンマー投 (4.000kg), やり投 (0.600kg).

第70回愛知陸上競技選手権大会
兼第53回東海陸上競技選手権大会予選会
兼第65回国民体育大会選手選考競技会
2010年7月17日・18日 瑞穂公園陸上競技場

男子

Table with 4 columns: 種目, 1位, 2位, 3位. Rows include 100m, 200m, 400m, 800m, 1500m, 110mH (1.067m), 400mH (0.914m), 3000mSC (0.914m), 5000mW, 走高跳, 棒高跳, 走幅跳, 三段跳, 砲丸投 (7.260kg), 円盤投 (2.000kg), ハンマー投 (7.260kg), やり投 (0.800kg).

最優秀選手 山本 雄介 (小島プレス)

女子

(GR: 大会新記録)

Table with 4 columns: 種目, 1位, 2位, 3位. Row includes 100m.

最優秀選手 今井沙緒里 (至学館大)

第56回全日本中学校通信陸上競技愛知県大会
兼第37回全日本中学校陸上競技選手権大会愛知県予選会
兼第65回国民体育大会選手選考競技会 (少年B・共通)
2010年7月19日 瑞穂公園陸上競技場

男子

(GR: 大会新記録/◎: 標準記録突破)

Table with 4 columns: 種目, 1位, 2位, 3位. Rows include 1年 100m, 1年 1500m, 2年 100m, 3年 100m, 200m, 400m, 800m, 1500m, 3000m, 110mH (0.914m), 4x100mR, 走高跳, 棒高跳.

種目	1位	2位	3位
走幅跳	清野 達也 6.54 安祥◎	平林 卓磨 6.47 東浦	加藤 駿汰 6.29 六ツ美
砲丸投 (5.000kg)	羽根田諭至 11.51 高蔵寺	手嶋 洋輔 11.25 前林	杵本 裕貴 11.14 古知野

種目	1位	2位	3位
走高跳	菊池慎一郎 1.88 富士松◎	大久保直哉 1.85 安城南◎	谷口 裕哉 1.82 ほとり
棒高跳	鈴木 康太 4.20 岡崎南◎	野村 大成 3.80 千種	嶋崎 吉孝 3.70 末野原
走幅跳	山本 研二 6.56 春日井中部	清野 達也 6.51 安祥	平林 卓磨 6.50 東浦◎
砲丸投 (5.000kg)	杵本 裕貴 11.83 古知野	永井 宏典 11.38 岩津	松尾 叔彦 11.32 守山西

女子 (GR:大会新記録/◎:標準記録突破/PR:県中学新記録)

種目	1位	2位	3位
1年 100m	中野 真琴 12.77 豊橋東部	浜田 奈子 13.17 高浜	武山さくら 13.33 岩津
2年 100m	伊藤 南侑 12.71 梅坪台	村越優里奈 12.83 六ツ美北	河合 詩菜 12.87 安祥
3年 100m	北野 有紀 12.42 愛知淑徳◎	杉山 美貴 12.71 矢作北	中山 怜佳 12.80 上郷
200m	山田 晴帆 26.15 千種	小嶋 梨菜 26.40 竜神	武田 真歩 26.92 田原東部
800m	酒井 愛菜 2.16.07 高蔵寺◎	佐々木明花 2.18.07 高橋	田中 美希 2.21.38 竜南
1500m	酒井 愛菜 4.31.12 高蔵寺◎	堀 舞花 4.32.82 祖父江◎	山田日菜野 4.33.21 みよし北◎
110mH (0.762m)	萩原加奈子 14.09 高豊 GR:PR	手嶋 風理 15.45 上郷	渡邊友紀子 15.50 武豊
4×100mR	千種 49.53 早川 有香 山田 晴帆 久保坂優子 橋詰 奈々	竜神 50.20 小嶋 梨菜 原田万里菜 鈴木 那奈 水野 杏美	長良 50.73 直井みのり 式守 茜 山田沙也加 大蔵 伊織
走高跳	杉浦 澄美 1.63 福岡◎	山口 実梨 1.57 朝日◎	山本 麻湖 1.57 杏掛◎
走幅跳	石原 薫子 5.35 美川◎	伊藤 南侑 5.20 梅坪台	彦坂優佳里 5.13 岡崎東海
砲丸投 (2.721kg)	岡田はるな 12.63 鶴城◎	岡 千波 12.23 知多知多	中村 彩花 11.86 吉田方

女子 (GR:大会新記録/◎:標準記録突破)

種目	1位	2位	3位
1年 100m	中野 真琴 12.70 豊橋東部	武山さくら 13.21 岩津	石黒 陽菜 13.43 大治
2年 100m	伊藤 南侑 12.54 梅坪台◎	河合 詩菜 12.76 安祥	村越優里菜 12.82 六ツ美北
3年 100m	北野 有紀 12.42 愛知淑徳◎	杉山 美貴 12.60 矢作北◎	伊藤 瑛里 12.77 六ツ美
200m	田中優梨亜 26.18 豊川西部	小嶋 梨菜 26.44 竜神	式守 茜 26.70 長良
800m	伊藤 早紀 2.25.63 赤羽根	山田 海鈴 2.25.64 田原	光部 風沙 2.26.22 赤羽根
800m	酒井 愛菜 2.17.95 高蔵寺	堀 舞花 2.18.18 祖父江	佐々木明花 2.18.86 高橋
1500m	山田日菜野 4.30.21 みよし北GR◎	松井恵里奈 4.31.69 高豊◎	鷺見 梓沙 4.39.02 杏掛◎
110mH (0.762m)	萩原加奈子 14.33 高豊◎	小木曾美樹 15.41 美川	渡邊友紀子 15.63 武豊
低学年 4×100mR	高浜 51.47 GR 中村 香梨 浜田 奈子 村瀬 朱里 深谷 実季	豊橋東部 52.22 GR 鈴木 幹奈 中野 真琴 松尾 葵 ノベアラリサ	本郷 52.99 棚橋 京子 奈良 朋世 羽田 千夏 永井 美希
4×100mR	千種 50.22 大山 晴加 早川 有香 久保坂優子 橋詰 奈々	上郷 50.29 手嶋 風理 中山 怜佳 貝原 有紀 河島 可恵	六ツ美 50.57 山崎友梨子 伊藤 瑛理 稲垣 江美 神手葉々子
走高跳	杉浦 澄美 1.62 福岡◎	落合里沙子 1.54 森孝	原 朋子 1.54 美川
走幅跳	石原 薫子 5.33 美川◎	鈴木 望馨 5.11 保見	久野 優樺 5.05 竜神
砲丸投 (2.721kg)	岡 千波 12.40 知多知多	安藤かすみ 12.10 古知野	中村 彩花 12.08 吉田方

第64回愛知県中学校総合体育大会陸上競技
2010年7月29日・30日 瑞穂公園陸上競技場

男子 (GR:大会新記録/NPR:県新記録/◎:標準記録突破)

種目	1位	2位	3位
1年 100m	新美 泰地 12.03 東浦	山本 幹也 12.09 三好丘	池川 雄大 12.12 藤岡
2年 100m	村瀬 翔太 11.57 城山	秋江 洋志 11.62 萩原	渡邊圭一郎 11.69 富士
3年 100m	掛川 真 11.16 豊明栄◎	井上 脩吾 11.48 矢作北	江 勇樹 11.49 塩津
200m	津坂 亮博 22.98 日進東◎	近藤 佑哉 23.02 大府北◎	藤岡 鷹羽 23.39 保見
400m	坂口 潤 51.77 知多八幡◎	中野 俊助 51.96 東山◎	中川 滋貴 52.36 赤羽根
800m	永山 周輝 2.03.39 東浦西部	川島 大征 2.04.85 葵	今 友佑 2.05.01 日進東
1年 1500m	飯島 康介 4.22.70 西浦 GR	渡邊 稜介 4.30.04 美川	植山 剛裕 4.33.69 前林
2年 1500m	野津 亮祐 4.14.02 青陵	小島 宏友 4.19.70 豊川西部	服部 晟也 4.20.64 吉良
3年 1500m	西山 怜 4.02.95 葵 NPR ◎	川合 健太 4.05.10 高豊◎	内藤 祐輝 4.10.39 牟呂◎
3000m	河合 祐哉 9.01.32 田原東部◎	外山 貴大 9.05.90 平坂	大野 日暉 9.10.24 岩津
110mH (0.914m)	古元 翼 14.71 三好南◎	三浦 成皓 14.77 富貴◎	福島 英樹 14.81 杏掛◎
低学年 4×100mR	東山 46.89 島田 誠生 篠田 恭平 善 大輝 川端 健太	上郷 47.97 村松 秀悟 為井 翔暉 丹羽 宏輔 阿部 凌大	北陵 48.50 神 航 松尾 直佳 松尾 隆佑 寺島 航汰
4×100mR	富士 44.24 正木 大地 渡邊圭一郎 杉本 侑真 鶴飼 瞭汰	豊橋南部 44.62 本多 立季 山口 潤也 大場 将太 井面 拓也	矢作北 44.72 健斗 井上 脩吾 岩田 侑也 中定 慎

平成22年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会
秩父宮賜杯第63回全国高等学校陸上競技対校選手権大会
平成22年7月29日(木)~8月2日(月) 沖縄県総合運動公園陸上競技場

男子

種目	順位	記録	選手名	学校名
200m	3	21.44	田村 朋也	名古屋大谷
4×100mR	6	41.53	掛村 将之	名古屋
			渡辺 将志	
			酒谷 昇吾	
寺西 智紀				
5000m 競歩	6	22.35.69	木村 洋介	弥富
走高跳	1	2.10	糟谷 隆明	中京大中京
棒高跳	4	5.00	折田 尚也	三好
	5	5.00	近田 竜雅	中京大中京
八種競技	4	5360	加藤 翼	日進西
フィールドの部	4		中京大中京 12点	

女子

種目	順位	記録	選手名	学校名
100m	8	12.64	山田 恵里	中京大中京
400m	8	57.01	木引悠起子	名女大
3000m	1	9.11.51	ワナイビートライズムルギ	豊川
	7	9.20.81	鈴木美乃里	豊川

種目	順位	記録	選手名	学校名
400mH	8	1.03.82	大谷友梨恵	至学館
4 × 100mR	7	47.70	征矢 萌唯	至学館
			船坂 実来	
			吉川有香子	
			家田 知佳	
七種競技	2	4710	河崎梓穂璃	佐屋

第32回東海中学校総合体育大会陸上競技大会
2010年8月10日 三重県総合競技場・陸上競技場

男子 (GR:大会記録)

種目	1位	2位	3位
1年100m	有川 湧貴 11.75 静岡・浜松天竜	小島 諒也 11.91 静岡・浜松光が丘	大川 大貴 11.93 静岡・伊豆の国大仁
2年100m	浦井 峻白 11.35 三重・渡会	秋江 洋志 11.39 愛知・萩原	中川 想基 11.55 三重・正和
3年100m	日吉 克実 10.81 GR 静岡・伊豆修善寺	掛川 真 10.97 愛知・栄	田中 翔真 11.05 三重・名張北
200m	林田 隼大 22.58 岐阜・岐大附高	油井 快晴 22.89 静岡・大井川	藤岡 鷹羽 23.06 愛知・保見
400m	高橋 拓也 50.74 静岡・磐田神明	白川龍之介 51.37 静岡・町立清水	坂口 潤 51.59 愛知・知多八幡
800m	永山 周輝 1:59.69 愛知・東浦西部	堀 晃輔 2:00.60 岐阜・境川	櫻川 皓司 2:01.01 愛知・滝ノ水
1年1500m	飯島 康介 4:24.65 愛知・西浦	会田 圭吾 4:25.13 静岡・富士元吉原	太田 智樹 4:25.52 静岡・浜松浜名
2年1500m	大谷 広樹 4:06.56 GR 静岡・静岡東	澤 弘平 4:10.77 静岡・静岡籠上	野津 亮祐 4:11.12 愛知・青陵
3年1500m	西山 令 4:06.36 GR 愛知・葵	渡辺 智裕 4:07.24 GR 岐阜・大垣東	南 嘉紀 4:07.93 GR 静岡・浜松舞阪
3000m	外山 貴大 8:58.32 愛知・平坂	川戸 拓海 8:59.60 三重・久居	河合 祐哉 9:07.76 愛知・田原東部
110mYH (0.914m)	中川 誠治 14.53 岐阜・大垣北	福島 英樹 14.60 愛知・沓掛	安井 拓 14.64 三重・一志
低学年4 × 100mR	三重・松阪西 46.57 石橋 耐志 高木 夏輝 奥川 魁斗 久我 一真	岐阜・大垣東 47.11 立川 裕太 山戸桃之介 川幡 圭輝 廣澤 数馬	静岡・浜松天竜 47.14 高橋 直希 峯邑 淳生 有川 湧貴 高野 雄太
4 × 100mR	静岡・伊豆修善寺 43.79 GR 水口 潤哉 土屋 裕輝 福井 将司 日吉 克実	愛知・富士 44.04 正木 大地 渡邊圭一郎 安藤 寛之 鶴飼 瞭汰	岐阜・岐大附属 44.20 矢田 一義 横山 新悟 兒玉 大地 林田 隼大
走高跳	松岡 修平 1.86 三重・高田	金原 優 1.83 静岡・浜松引佐南部	加藤 友祐 1.83 愛知・六ツ美
棒高跳	高橋 義貴 4.20 静岡・吉原第一	市川 亘輝 4.10 静岡・浜松南陽	寺尾 隼 静岡・静岡末広 石村祥太 三重・赤日 3.90
走幅跳	平林 卓磨 6.56 愛知・東浦	島岡 大貴 6.56 三重・嬉野	土屋 裕輝 6.56 静岡・伊豆修善寺
砲丸投 (5.0kg)	赤間 祐一 15.21 静岡・浜松北部	森 大輝 14.33 静岡・浜松天竜	萩永 有統 13.97 岐阜・池田

女子 (GR:大会記録)

種目	1位	2位	3位
1年100m	天城帆乃香 12.49 GR 静岡・浜松南陽	柴山沙也香 12.50 GR 岐阜・笠原	中野 真琴 12.69 GR 愛知・豊橋東部
2年100m	伊藤 南侑 12.37 GR 愛知・梅坪台	山本 栞菜 12.59 三重・伊勢宮川	河合 詩菜 12.62 愛知・安祥
3年100m	中村 有里 12.45 静岡・伊豆修善寺	杉山 美貴 12.52 愛知・矢作北	鈴木 知沙 12.62 静岡・浜松佐鳴台
200m	建部カオリ 25.03 GR 静岡・浜松湖東	松本沙耶子 25.28 GR 静岡・清水第四	平木 真美 25.88 静岡・藤枝

種目	1位	2位	3位
1年800m	島田 美穂 2:19.17 静岡・御殿場富士岡	澤入 想 2:20.86 静岡・御殿場富士岡	山口 可純 2:22.02 三重・光陵
800m	松本奈菜子 2:13.77 静岡・清水第四	堀 舞花 2:15.11 愛知・祖父江	酒井 愛菜 2:15.39 愛知・高蔵寺
1500m	中島 葵 4:37.57 静岡・菊川西	青木 和 4:37.73 岐阜・多治見	鷲見 梓沙 4:37.81 愛知・沓掛
100mH (0.762m)	萩原加奈子 14.28 GR 愛知・高豊	二村 有紀 14.60 静岡・浜松天竜	飯尾 玲菜 14.63 静岡・浜松曳馬
低学年4 × 100mR	三重・五十鈴 50.87 GR 石谷 佳穂 林 薫乃 榎坂つぐみ 西田 有沙	静岡・浜松南陽 50.95 GR 伊藤 風歌 天城帆乃香 富田 志保 三輪 愛佳	三重・厚生 52.23 家田 真弥 青木 聖奈 松葉みなみ 追本 紘奈
4 × 100mR	静岡・浜松天竜 49.53 春日 美紀 二村 有紀 鈴木 杏実 田中 愛花	三重・神戸 49.62 一色 美咲 中筋 彩夏 岡田 麻佑 里中 莉沙	岐阜・多治見 49.90 水野 捺結 坂本 文香 松原 実穂 野村 真由
走高跳	杉浦 澄美 1.61 愛知・福岡	岡田 千春 1.58 静岡・清水第七	松島美羽留 1.58 静岡・浜松細江
走幅跳	石原 薫子 5.36 愛知・美川	天野 那海 5.28 静岡・浜松雄踏	石川加奈子 5.28 愛知・青山
砲丸投 (2.721kg)	中川 由貴 14.02 三重・多度	井豫亜莉沙 13.70 三重・倉田山	岡田はるな 12.81 愛知・鶴城

第28回全日本大学女子駅伝対校選手権大会東海地区選考会
平成22年8月28日(土) 半田運動公園陸上競技場

総合順位	大学名	合計タイム	平均タイム
1	中 京	1:47.20.93	17:53.49
2	名古屋	1:48.03.09	18:00.52
3	愛知教育	1:51.14.87	18:32.48
4	至学館	1:51.39.59	18:36.60
5	椋山女学園	1:55.03.86	19:10.64

以上の結果より、中京大学・名古屋大学の2校を第28回全日本大学女子駅伝対校選手権大会の東海地区代表校として(社)日本学生陸上競技連合に推薦。

第53回東海陸上競技選手権大会兼第95回日本陸上競技選手権大会予選会
平成22年8月28日(土)・29日(日) 長野県松本平広域公園陸上競技場

男子 (TR・GR:東海新)

種目	1位	2位	3位
100m	中川 恵輔 10.61 愛知・中京大	田中 星次 10.63 愛知・トヨタ自動車	岩田 晃 10.67 長野・セイコーエプソン
200m	岩田 晃 21.14 長野・セイコーエプソン	田村 朋也 21.27 愛知・名古屋大谷高	服部 辰也 21.33 愛知・中京大
400m	武田 健太 47.00 三重・日本陸送	安井 一樹 47.21 愛知・中京大	古川 拓夢 47.50 岐阜・中京大
800m	川元 奨 1:52.96 長野・北佐久農業高	勝俣 章博 1:53.30 愛知・法政大	小森 大輝 1:53.96 岐阜・岐阜高専
1500m	菊池 敦郎 3:53.05 三重・NTN	中川 瞭 3:54.47 三重・上野工高	山本 修平 4:00.03 愛知・TTランナーズ
5000m	山本 修平 4:42.30 愛知・TTランナーズ	利根川裕雄 14:48.47 長野・アルプスツール	中川 智博 14:51.96 静岡・スズキ浜松アスリート
10000m	大関 幸幸 31:03.15 愛知・愛知製鋼	坂井 俊介 31:10.13 愛知・中央発條	中川 学 31:27.18 静岡・Honda-ac
110mH	飯田 将之 14.03 愛知・チームミスノAC	古川裕太郎 14.11 愛知・小島プレス	吉岡 康典 14.35 愛知・愛知陸協
400mH	武田 健太 50.57 三重・日本陸送	天野 裕太 51.62 静岡・至学館大	今井 順也 51.66 岐阜・岐阜AC

種目	1位	2位	3位
3000mSC	濱 克徳 9.03.00 愛知・中央発條	加藤 聡 9.05.51 愛知・トヨタ自動車	阿部 芳規 9.10.08 愛知・アスカム RC
5000m競歩	山口 貴史 21.55.13 静岡・東京学芸大	木村 洋介 21.57.02 愛知・弥富高	尾上 雄基 22.14.85 静岡・中部学院大
走高跳	舟瀬 勇太 2.10 愛知・中京大	加藤 紀一 2.05 愛知・名古屋工業大	福良 翔 静岡・横浜国立大 早川周吾 愛知・安城学園 AC 2.00
棒高跳	近田 竜雅 5.00 愛知・中京大中京高	岩崎 翔太 5.00 愛知・愛知学院大	西澤 直希 5.00 長野・順天堂大
走幅跳	西 航司 7.55 愛知・日本大	太田 朗 7.44 長野・松本大	嶺村 鴻汰 7.39 長野・大町高
三段跳	梶川 洋平 16.06 三重・M&K	鈴木 義啓 15.90 静岡・スズキ浜松アスリート	佐藤 賢一 15.69 長野・信大こまき AC
砲丸投	村川 洋平 17.20TRGR 静岡・スズキ浜松アスリート	南 幸裕 15.78 三重・三重教員クラブ	奥田 雄也 14.93 岐阜・福井工大
円盤投	大山 祐史 47.31 三重・国士館大	藤原 潤 47.14 三重・八千代工業	山形 洋平 45.18 愛知・中京大クラブ
ハンマー投	野中 直道 59.94 愛知・中京大	久保 幸弘 59.55 三重・三重教員クラブ	一柳 英之 56.34 愛知・中京大
やり投	下り藤修大 65.91 愛知・小島プレス	恵濃 一繁 65.46 三重・日本陸送	齋藤 文孝 62.96 岐阜・益田清風高
4×100mR	中京大 40.33 成瀬 慎也 安井 一樹 外間 修造 中川 恵輔	愛知学院大 41.15 市川 真央 斉藤 雄斗 若林 堯之 中村 健太	吉原商業高 41.38 滝田 慎一 矢川 喬平 渡邊 悟 久松 巧
4×400mR	愛知学院大 3.15.39 伊東 雅哲 伊藤 洋輝 田口 明 野澤 俊輔	東海大翔洋高 3.15.56 松原 奨 望月龍之介 近藤 祐市 近松 亮	岐阜経済大 A 3.16.67 水野 慎也 小池 裕也 小牟礼尚也 丸田 友翔

女子

種目	1位	2位	3位
100m	今井沙緒里 11.64GR 愛知・至学館大	須田 紗織 11.90 三重・M&K	加藤 里奈 12.05 三重・至学館大
200m	今井沙緒里 23.68GR 愛知・至学館大	堀江 真由 24.52 三重・M&K	船坂 実来 24.85 愛知・至学館高
400m	堀江 真由 55.38 三重・M&K	鷹羽 桃子 55.94 愛知・至学館大	木引悠起子 56.14 愛知・名女大高
800m	中田 優菜 2.11.17 長野・福島大	井口 智景 2.12.88 愛知・豊橋東高	手塚 怜実 2.13.84 静岡・清水西高
1500m	鈴木美乃里 4.30.01 愛知・豊川高	安藤 友香 4.30.54 愛知・豊川高	清田 真央 4.31.21 愛知・中京大中京高
5000m	清田 真央 17.15.45 愛知・中京大中京高	前田 静香 17.38.73 静岡・浜北西高	内藤 愛 17.53.89 岐阜・大垣日大高
10000m	星野 芳美 38.43.96 静岡・eA 静岡		
100mH	岸 沙耶香 13.95 愛知・小島プレス	山崎由加里 14.20 愛知・栄新葉	武井 怜子 14.37 岐阜・濃飛倉庫運輸
400mH	齋藤 結 1.00.14 愛知・中京大	大谷友梨恵 1.00.74 愛知・至学館高	浅岡加世子 1.00.80 愛知・トヨタ自動車
3000mSC	梅谷舞衣子 13.59.86 愛知・OWLS		
5000m競歩	宇佐見紗也加 25.12.98 岐阜・中部学院大	上野 侑香 25.35.86 三重・日本陸送	野田 泰代 25.53.11 静岡・早稲田大
走高跳	河澄 真子 1.68 愛知・中京大	山中里花子 1.65 静岡・浜松湖南高	有賀 楓子 1.65 長野・伊那北高
棒高跳	前田 朋子 3.95 GR 愛知・中京大クラブ	渡邊みなみ 3.70 岐阜・愛知教育大	山田 真実 3.50 静岡・浜松西高
走幅跳	宮坂 楓 5.97 長野・東海大三高	桐山明日香 5.57 長野・伊那弥生ヶ丘高	伊藤佳奈恵 5.54 三重・JACK
三段跳	小川 詩織 12.55 愛知・OWLS	伊藤佳奈恵 12.01 三重・JACK	小坂 知子 11.95 岐阜・高山陸上クラブ
砲丸投	伊川 綾子 13.11 三重・中京大	藤澤 華子 12.70 愛知・中京大	鈴木 綾乃 12.55 静岡・磐田東高
円盤投	加藤 千枝 41.90 愛知・至学館大	中島 未歩 39.92 長野・丸子修学館高	中島 沙織 39.21 長野・国士館大
ハンマー投	野田 奈央 58.63 愛知・エヴァクラブ	武川 美香 55.10 静岡・スズキ浜松アスリート	柘植 由衣 53.69 岐阜・岐阜陸協
やり投	塩島 絵未 49.59 長野・日本体育大	田中 彩穂 47.58 三重・津商高	武重 綾乃 45.36 長野・丸子修学館高

種目	1位	2位	3位
4×100mR	至学館大 47.24 谷内 美彩 後藤 香奈 後藤 菜月 今井沙緒里	中京大中京高 47.35 西川 彩乃 山田 恵里 松井香保里 鈴木 愛理	岐阜経済大 48.63 樋口 恵美 鈴木 咲子 鳥居 桃子 森川 美穂
4×400mR	至学館大 3.50.64 安保 真衣 鷹羽 桃子 西尾真梨子 後藤 菜月	中京大中京高 3.55.17 山田 恵里 吉川 侑希 松井香保里 竹内麻里子	清水ミズノ SC 3.56.26 森 久留美 松本奈菜子 清水 真帆 松本沙耶子

第27回東海小学生リレー競技大会
平成22年8月28日 長野県松本平広域公園陸上競技場

男子 (GR:大会新)

種目	順位	氏名	所属	記録
100m	1	河合 希	田原陸上クラブ	14.06
	5	山下 凌芽	田原陸上クラブ	14.76
	6	外山 零	豊橋陸上クラブ	14.77
4×100mR	1	渡会 康貴 伊藤 壮太 小山内元希 和田 瑞輝	田原陸上クラブ 50.89GR	50.89 GR
	3	大谷 駿 佐藤 光 鈴木 大生 渡辺 拓也	豊橋陸上クラブ	54.03
	8	杉浦 勘汰 坂本 勇太 吉本 飛雄 中村 真明	安城北部 AC	56.42

女子 (GR:大会新)

種目	順位	氏名	所属	記録
100m	4	三浦 璃紗	豊橋陸上クラブ	14.91
		守屋加奈子		
4×100mR	1	モローネアンジェロ 加納 礼菜 鈴木 瑞希 釜田 留奈	なごや陸上クラブ	53.55 GR
	3	大河 舞侑 増山 彩音 鈴木 麻妃 後藤 有砂	田原陸上クラブ	54.98
	6	加藤 美沙 山本 真未 佐藤 果奈 伊藤 李紗	豊橋陸上クラブ	56.02

混合 (GR:大会新)

種目	順位	氏名	所属	記録
4×100mR	3	鳥居 夏帆 片山 栞里 本田 和馬 吉田 将	安城ジュニア 陸上クラブ	55.62
		4	土方 若菜 久野 景子 杉山 尚規 筒井 幹太	豊橋陸上クラブ

第31回愛知県ジュニアオリンピック競技大会
第41回ジュニアオリンピック陸上競技大会愛知選手選考会
2010年9月4日(土) 瑞穂公園陸上競技場

(◎:標準記録突破)

種目	1位	2位	3位
男子A 100m	掛川 真 11.00 豊明栄中	實 大地 11.18 杏掛中	宮崎 恭庸 11.33 六ツ美北中

	種目	1位	2位	3位
男子A	200m	井上 脩吾 22.73 矢作北中	近藤 佑哉 22.76 大府北中	金宮 圭佑 22.91 扇台中
	3000m	西山 令 9.07.81 松下走塾	川合 健太 9.11.15 高豊中	河合 祐哉 9.11.22 田原東部中
	110 mH (0.991m)	古元 翼 14.71 ◎みよし南中	三浦 成皓 14.81 ◎富貴中	岩瀬 累 15.12 岡崎南中
	走高跳	川合 隆広 1.85 岡崎南中	加藤 友祐 1.85 六ツ美中	大久保直哉 1.85 安城南中
	砲丸投 (5.000kg)	杵本 裕貴 12.05 古知野中	羽根田諭至 11.50 高蔵寺中	松尾 叔彦 11.16 守山西中
男子B	100m	村瀬 翔太 11.42 城山中	秋江 洋志 11.52 AC一宮	黒木 省悟 11.72 矢作中
	1500m	野津 亮祐 4.21.13 豊橋陸上クラブ	服部 晟也 4.22.20 吉良中	岡田 直也 4.22.56 東港中
	110mH (0.914m)	岩崎 聖 14.92 ◎東海中	鈴木 康隆 16.13 甲山中	三宅 駿 16.98 甲山中
	走幅跳	伊藤 裕也 6.33 豊川東部中	渡邊圭一郎 6.30 富士中	佐藤 昌範 5.96 美川中
	砲丸投 (4.000kg)	清水 和樹 12.00 味美中	山崎 優太 11.41 はとり中	石井 健史 11.30 高蔵寺中
男子C	100m	新美 泰地 12.14 東浦中	山本 幹也 12.33 とよた AC	石田 雄真 12.38 武豊中
	走幅跳	小川 太郎 5.26 大曾根中	垣立 康汰 5.24 TSM	鈴木 力斗 5.17 大口中
	1500m	飯島 康介 4.28.76 西浦中	渡邊 稜介 4.32.35 美川中	長谷川文哉 4.36.19 知立中
男子A B C 共通	円盤投 (1.500kg)	永井 宏典 33.31 岩津中	中村 勇太 32.28 守山西中	冬頭 海斗 29.25 萩山中
	ジャベリック スロー	竹内 一貴 61.94 平針中	奥西 直也 59.58 牧の池中	戸谷 慎吾 59.24 篠目中
女子A	100m	杉山 美貴 12.23 ◎松下走塾	北野 有紀 12.61 愛知淑徳中	早川 有香 12.83 千種中
	200m	小嶋 梨菜 26.54 竜神中	山本 佳那 26.59 半田中	式守 茜 26.74 長良中
	3000m	堀 舞花 10.06.38 祖父江中	酒井 愛葉 10.17.57 高蔵寺中	加治屋ななこ 10.22.22 逢妻中
	100YH (0.762m)	渡辺 葵 15.75 北山中	手嶋 風理 16.03 上郷中	深谷 亜以 16.08 大府西中
	走高跳	杉浦 澄美 1.64 ◎福岡中	山口 実梨 1.58 朝日中	原 朋子 1.58 美川中
	砲丸投 (4.000kg)	岡田はるな 9.96 鶴城中	岡 千波 9.51 知多知多中	兵藤 妃華 8.55 美川中
女子B	100m	河合 詩菜 12.67 松下走塾	村越優里奈 12.96 六ツ美北中	橋詰 奈々 13.02 千種中
	1500m	中根 千明 4.45.33 矢作中	諸富 愛奈 4.46.51 竜海中	安藤 理聖 4.47.00 豊岡中
	100mH (0.762m)	渡邊友紀子 15.19 武豊中	柳瀬 理央 15.49 守山西中	黒柳 佑衣 16.00 甲山中
	走幅跳	伊藤 南佑 5.42 とよた AC	山下 瑞季 5.18 亀崎中	佐藤 愛 5.11 千種中
	砲丸投 (2.721kg)	中村 彩花 11.50 豊橋陸上クラブ	樋口菜々日 10.28 香流中	神谷 唯 9.79 碧南南中
	女子C	100m	武山さくら 13.00 岩津中	浜田 奈子 13.10 高浜中
800m		伊藤 早紀 2.21.60 田原陸上クラブ	山田 海鈴 2.21.75 田原中	光部 風沙 2.22.82 田原陸上クラブ
走幅跳		阿部 夏子 4.64 なごやクラブ	コリ 巴瑠 4.58 矢作中	梶野 香子 4.57 なごやクラブ
女子A B C 共通	円盤投 (1.000kg)	安藤かすみ 27.61 古知野中	服部 円香 23.94 助光中	峰須賀菜衣 23.85 岩津中
	ジャベリック スロー	中●志穂 39.24 萩山中	葛谷 彩未 37.25 木曾川中	中村 知香 35.75 守山西中

- ②愛知陸上競技協会会長表彰候補者について
 - ・名古屋支部3名、西三河支部3名、東三河支部4名計10名が選ばれる。
- ③法人化準備委員会について
 - ・昨年11月6日(金)に陸連より東海5県の担当者に説明会実施。2012年4月より実施の方向で準備をはじめ。外山理事長より、愛知陸協準備委員会を外山理事長他4名で組織することの提案があり、承認される。
- ④その他

2 報告事項

- ①日本陸連評議員会報告
 - ・平成21年度事業報告・決算報告について
 - ・日本選手権の開催地について
 - ・日本記録樹立に伴う強化費の支給について
 - ・平成21年度登録者数について
 愛知は15,027名で全国3位
 - ・主要国際大会の代表選手選考について
 - ・その他…陸連評議員の変更について
- ②日本ジュニア・ユース選手権大会について
 - ・陸連との申し合わせ事項について
 - ・大会要項について
 - ・実行委員会名簿及び業務分掌について
 - ・諸会議日程について
- ③マラソンフェスティバルについて
 - ・大マラソン化に向けての動きについて
- ④各専門委員会報告
 - ・2010年新記録として確認した種目 (記録委員会)
 - ・2010・11年県内競技場検定関係について
 - ・全国主要競技会開催予定一覧表について (施設用器具委員会)
- ⑤その他
 - ・愛知陸協事務局 HP の業者委託について
 - ・世界ジュニア選手権大会代表について

○理事会 22年8月9日(月) 18:00 教育会館

1 協議事項

- ①国民体育大会県代表(役員・選手)の選考について
 - ・スタッフは団長、北村肇氏はじめ14名。選手は成年男子、内藤真人選手はじめ総勢30名。以上承認される。
- ②国民体育大会代表選手の強化合宿について
 - ・第1次合宿…8月24日～25日(半田・中京大)
 - 第2次合宿…9月19日～20日(知多)
 - 中長距離合宿…8月25日～28日(長野県富士見高原)
 - 以上強化委員会より提案があり承認される。
- ③2010名古屋ハーフマラソン大会について
 - ・申込期間の変更について承認される。その他例年どおり。

理事会等会議報告

○常務理事会 22年7月7日(水) 18:30 教育会館

1 協議事項

- ①愛知選手権大会選手権賞等の寄贈者について
 - ・男女最優秀選手賞及び各種目選手権者の「選手権賞寄贈者」を決定する。梅村清弘氏他46名。

- ④日本陸連公益法人移行に伴う東海・北陸地区評議員、東海地区理事の推薦について
- ⑤その他

2 報告事項

- ①名古屋シティマラソン実行委員会について
 - ・実行委員会規約について
 - ・大会組織・要項・予算について
- ②日本ジュニア・ユース選手権大会について
 - ・大会要項について
 - ・サブイベント招待リレー大会について
 - ・諸会議日程について
 - ・競技役員について
- ③全国高校総体陸上競技大会の成績について
 - ・優勝…男子走高跳 糟谷隆明 (中京大中京)
 - ・その他
- ④各専門委員会の報告
 - ・2010年新記録として確認した種目(記録委員会)
- ⑤その他
 - ・第37回全日中陸上競技選手権大会出場者について
総勢66名出場
- ⑥第45回全国ろうあ者体育大会について
2011年9月15日(木)～18日(日)
- ⑦アジア・インターシティ高校陸上競技大会報告
監督：伊藤明久、コーチ：松岡由希子、選手12名出場
- ⑧その他

(稲垣 裕)

○東海陸上競技協会 理事会報告

- ・平成22年8月28日(土)
- ・松本：東急イン
- ◎東海陸上競技大会第1日の夜、下記事項が提案され、提案どおり承認されました。
 - 1 平成21年度 事業報告
 - 2 平成21年度 収支決算
 - 3 平成22年度 事業計画(案)
 - 4 平成22年度 収支予算(案)
 - 5 第13回東海高校新人陸上競技大会(案)
 - ・平成22年10月23日(土)・24日(日)
静岡・草薙総合運動公園陸上競技場にて開催予定
 - 6 その他
 - ①東海陸上競技協会規約(※1)
 - ②競技大会開催予定(※2)

※1 規約につきましては、第6条(理事)の項の1を次のとおりに改正しました。

第6条(理事)

- 1 東海地域各加盟団体の会長および糖当分の間平成22年度の日本陸連評議員数に応じて東海地域加盟団体から選出された者をもってあてる。
(従来は、日本陸連の評議員を当てるとなっていました。平成23年度4月より評議員数は、東海北陸で1名となりました。)

※2 東海陸協関連大会開催予定表(平成22～28年度)
競技大会開催予定表(案) 東海陸上競技協会

年度/大会名	選手権	高校総体	高校新人	高校駅伝	東海中学
2010・平成22	長野	愛知	静岡	愛知	三重

2011・平成23	愛知	静岡	岐阜	静岡	愛知
2012・平成24	三重	岐阜	三重	岐阜	静岡
2013・平成25	静岡	三重	愛知	三重	岐阜
2014・平成26	岐阜	愛知	静岡	愛知	三重
2015・平成27	長野	静岡	岐阜	静岡	愛知
2016・平成28	愛知	岐阜	三重	岐阜	静岡

(外山 修)

栄章

おめでとうございます



平成22年7月17日(土)・18日(日)瑞穂公園陸上競技場で、第70回愛知陸上競技選手権大会が実施されました。2日めに競技場メインスタンド前で、本年度の愛知陸上競技協会会長表彰式が行なわれました。

長年の愛知陸協への貢献が認められ、表彰された方は、次の10名の皆さんです。おめでとうございます。

- 稲垣 裕 (名古屋支部) 大津賀賢 (名古屋支部)
- 飯田日出男 (名古屋支部) 岡田達幸 (西三河支部)
- 櫻井 一美 (西三河支部) 蟹江賢治 (西三河支部)
- 岩瀬 金道 (東三河支部) 加藤晴雄 (東三河支部)
- 鈴木 覚 (東三河支部) 夏目輝久 (東三河支部)

(稲垣 裕)

編集後記

◆例年のない暑さの中で、熱中症を心配しながら多くの大会が開催された。関係者の配慮で無事に大会を終えることができた。感謝！◆地元出身の室伏広治選手が大活躍。全日本実業団での勇姿が楽しみだ。◆秋から新人の出番。千葉国体も目前。大いなる県勢の活躍を期待したい。◆台北への高校生派遣。結果はともあれ、友好と親善で得たものは今後のかけがえのない大きな宝になるだろう。

編集委員

- 占部 輝之 大久保真理子 大西 敏功 外山 修
- 中尾 洋一 新美 準人 西垣 完彦 野口 一昭
- 山本 三郎